

マニュアル&カタログ
(改訂:2025年11月)



NobelActive®

ノーベルアクティブ

注:本文中では、読みやすくするために商標/登録商標の™
または®を使用していません。ただし、これは弊社が、商標
あるいは登録商標に関する自社の権利を放棄したことを意
味するものではなく、本書のいかなる記載内容もそのように
解釈されるものではありません。

免責事項:製品の種類や在庫の有無については、ノーベル
バイオケアまでお問い合わせください。

目次

はじめに 5

クイックスタート 6

製品仕様 – インプラント 8

外科術式 11

インプラント埋入時の重要事項 12

歯肉剥離 / フラップレス 13

骨質に応じたドリル・プロトコル 14

深さの測定システム 16

緻密な骨質におけるタップの使用 17

フラップレスの術式 18

歯肉剥離による術式 19

インプラント埋入 22

ノーベルアクティブ 3.0 および特別な外科術式 27

ノーベルアクティブ 3.0 28

特別な外科術式 30

補綴術式 35

重要な注意事項 36

インプラント手術の最終手順 38

2回法遅延負荷 39

1回法早期 / 遅延負荷 39

1回法即時負荷 40

製品カタログ 45

フローチャート・ノーベルアクティブ 46

外科用キット 52

ドリルストップ 53

インプラント 54

外科用コンポーネント 55

ドレープキット / 補綴用ドライバー&キット 57

テンポラリー・コンポーネント 58

オッセオセット 300 60

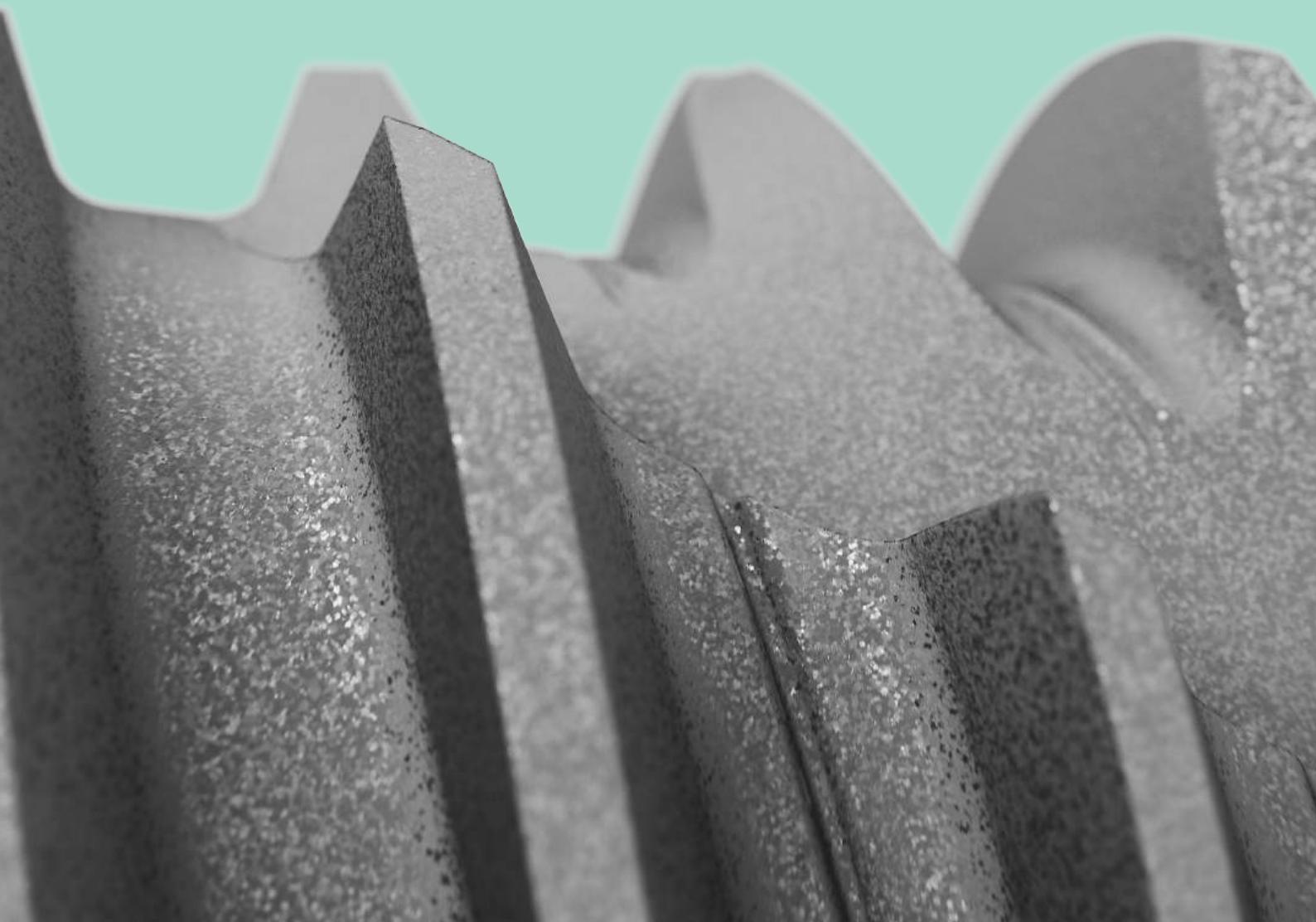
マスター サージ LUX 61

コンフォルト II 用アクセサリー 62

附録 65

外科用 / 補綴用トルクレンチ 66

洗浄と滅菌 68



はじめに

クイックスタート 6

製品仕様 – インプラント 8

クイックスタート

チップ付ツイストドリル
Ø 2 mm



歯肉剥離による術式

ツイストステップドリル
Ø 2.4/2.8 mm



ツイストステップドリル
Ø 3.2/3.6 mm

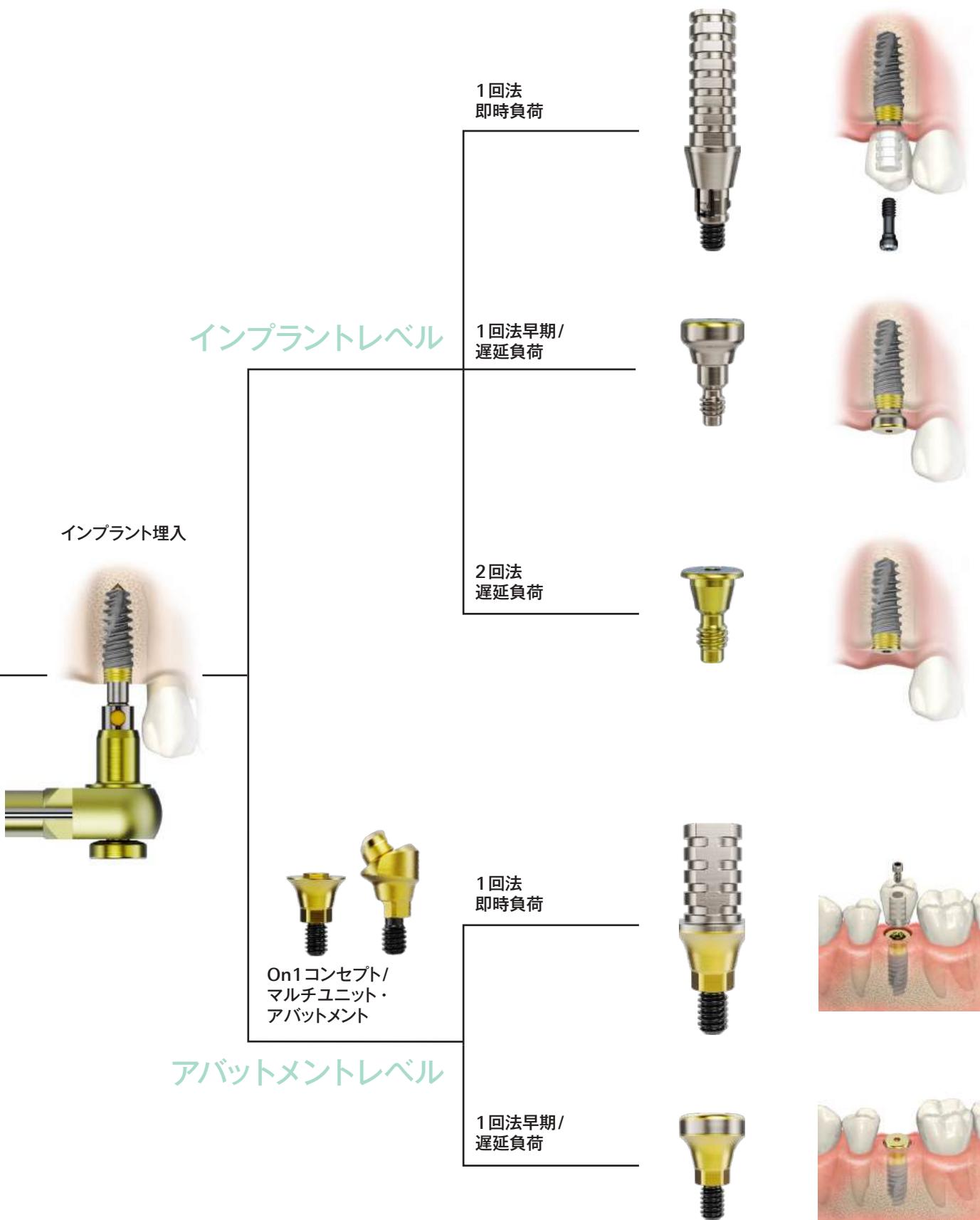


チップ付ツイストドリル
Ø 2 mm



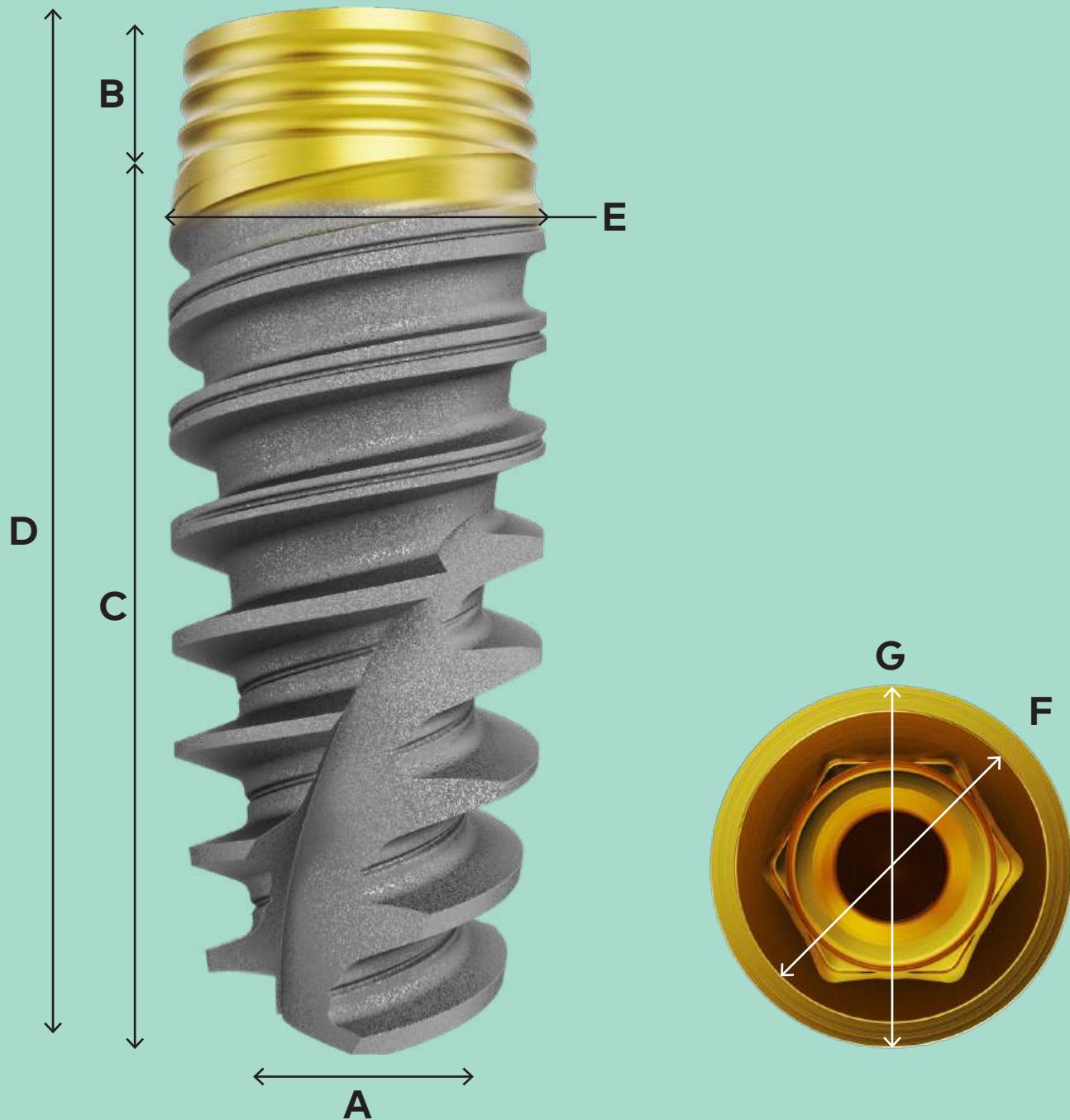
フラップレスの術式

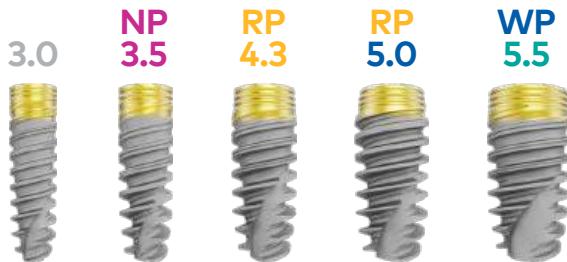
上記イラストは、ノーベルアクティブ・インプラント RP 4.3×13 mmを
中程度の硬さの骨に埋入するドリル手順を示しています。
ノーベルアクティブ3.0の手順は28ページをご覧ください。



Implant

製品仕様





プラットフォーム

治療計画、臨床手順、およびコンポーネントの識別を容易にするため、ノーベルアクティブの補綴用コンポーネントは「プラットフォーム・コンセプト」に基づいて構成されています。

ナロー・プラットフォーム (NP) はマゼンタ、レギュラー・プラットフォーム (RP) はイエロー、ワイド・プラットフォーム (WP) はブルーです。

3.0はカラーコードがありません。

プラットフォーム	A 先端の直径	B カラーの高さ	C スレット部分の高さ	D 全長	E 外径	F アバットメント連結面径	G ブリッジ接合面径
3.0	3.0×10 mm	1.95	0.8	8.7	9.5	3.0	2.5
	3.0×11.5 mm	1.95	0.8	10.2	11.0	3.0	2.5
	3.0×13 mm	1.95	0.8	11.7	12.5	3.0	2.5
	3.0×15 mm	1.95	0.8	13.7	14.5	3.0	2.5
NP 3.5	3.5×8.5 mm	2.6	1.0	7.0	8.0	3.5	3.0
	3.5×10 mm	2.6	1.0	8.5	9.5	3.5	3.0
	3.5×11.5 mm	2.6	1.0	10.0	11.0	3.5	3.0
	3.5×13 mm	2.6	1.0	11.5	12.5	3.5	3.0
	3.5×15 mm	2.6	1.0	13.5	14.5	3.5	3.0
	3.5×18 mm	2.6	1.0	16.5	17.5	3.5	3.0
	4.3×8.5 mm	3.2	1.0	7.0	8.0	4.3	3.4
RP 4.3	4.3×10 mm	3.2	1.0	8.5	9.5	4.3	3.4
	4.3×11.5 mm	3.2	1.0	10.0	11.0	4.3	3.4
	4.3×13 mm	3.2	1.0	11.5	12.5	4.3	3.4
	4.3×15 mm	3.2	1.0	13.5	14.5	4.3	3.4
	4.3×18 mm	3.2	1.0	16.5	17.5	4.3	3.4
	5.0×8.5 mm	3.6	1.0	7.0	8.0	4.9	3.4
	5.0×10 mm	3.6	1.0	8.5	9.5	4.9	3.4
RP 5.0	5.0×11.5 mm	3.6	1.0	10.0	11.0	4.9	3.4
	5.0×13 mm	3.6	1.0	11.5	12.5	4.9	3.4
	5.0×15 mm	3.6	1.0	13.5	14.5	4.9	3.4
	5.0×18 mm	3.6	1.0	16.5	17.5	4.9	3.4
	5.5×7 mm	4.0	1.0	5.5	6.5	5.5	4.4
	5.5×8.5 mm	4.0	1.0	7.0	8.0	5.5	4.4
	5.5×10 mm	4.0	1.0	8.5	9.5	5.5	4.4
WP 5.5	5.5×11.5 mm	4.0	1.0	10.0	11.0	5.5	4.4
	5.5×13 mm	4.0	1.0	11.5	12.5	5.5	4.4
	5.5×15 mm	4.0	1.0	13.5	14.5	5.5	4.4
	5.5×18 mm	4.0	1.0	16.5	17.5	5.5	4.4
	5.5×20 mm	4.0	1.0	19.5	20.5	5.5	4.4

単位はすべてミリメートルです。

上記サイズはTiUniteおよびTiUltra表面で共通です。

3.0: 埋入部位のスペースが極めて限られた症例や、NPインプラントを使用するには、顎骨の量が十分でない場合に使用します。

注意: ノーベルアクティブ 3.0 は上顎の側切歯および下顎の中切歯または側切歯における単独歯の修復にのみ適用できます。

複数歯の修復には適用できません。

ナロー・プラットフォーム: 隣接歯/インプラントとのスペースが限られている症例や、RPインプラントを使用するには顎骨の量が十分でない場合に使用します。

注意: ナロー・プラットフォーム・インプラントの臼歯部へのご使用は、インプラントに過剰な負荷がかかることが懸念されるため特に注意が必要です。



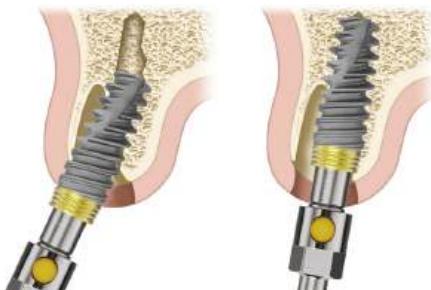
外科術式

- インプラント埋入時の重要事項 12
- 歯肉剥離 / フラッププレス 13
- 骨質に応じたドリル・プロトコル 14
- 深さの測定システム 16
- 緻密な骨質におけるタップの使用 17
- フラッププレスの術式 18
- 歯肉剥離による術式 19
- インプラント埋入 22

インプラント埋入時の重要事項

インプラント埋入

インプラント埋入時における深度の調整は、形成した部位の底部でインプラントが止まるとは限らず、この手技における安全性が確認されていないため、行わないでください。



インプラントの埋入速度

このインプラントは、スレッドの独自のピッチ設計により、他のインプラント製品より速く埋入することができます。このため、インプラント埋入完了までの必要な回転数も少なくなりますので、注意してください。

インプラントの埋入時にはアバットメントの形態、軟組織の厚みや補綴装置のデザインを考慮に加え、インプラントを適切な深さ・ポジションで埋入するように計画してください。

サージカルドライバーを使用したインプラント埋入

サージカルドライバーを使用してインプラントを埋入する場合は、過剰なトルクがかからないよう十分にご注意ください。



インプラント ブリッジ用コンポーネントの新旧製品について

新タイプのインプラント ブリッジ用ヒーリング・アバットメントおよび印象用コーピングは、旧タイプと異なり、上部が広がるフレアー形状のデザインとなっています。ヒーリング・アバットメントで形成された歯肉の形態を正しく印象採得するためには、新旧タイプを混同せずにご使用ください。



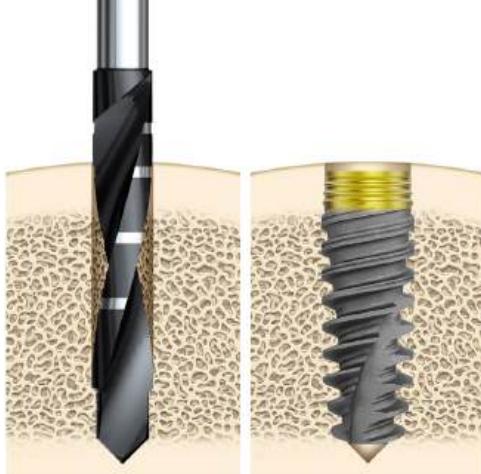
ノーベルアクティブ 3.0 インプラント

ノーベルアクティブ 3.0は、単独歯の修復にのみ適用でき、上顎の側切歯および下顎の中切歯または側切歯の修復に使用できます。複数歯の修復には、ご使用できません。

また、他プラットフォームのノーベルアクティブ・インプラント (NP/RP/WP) とは異なり、インプラント埋入トルクは最大 45 Ncm、アバットメントスクリューの締め付けトルクは 15 Ncm を超えないようご注意ください。



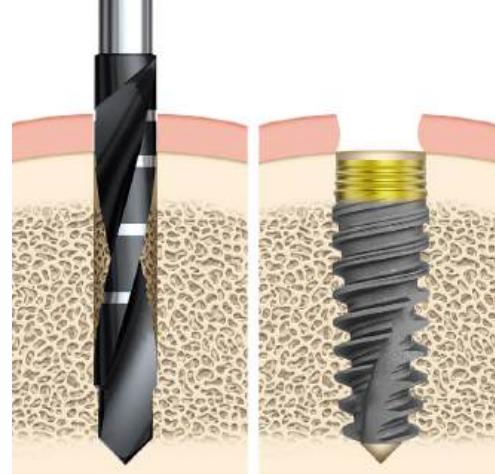
歯肉剥離とフラップレス



歯肉剥離

歯肉剥離による術式を使用するのは：

- 齒槽骨や隣接する解剖学的構造を観察する必要がある場合
- 骨に陥凹部がある場合。この場合は歯肉を剥離し、軟組織を保護しながらドリリングを行います。
- 骨や軟組織の移植を必要とする場合



フラップレス

フラップレス術式を使用するのは：

- 齒槽骨と軟組織の量と質が十分な場合
- 解剖学的観点から、安全にドリリングを行うために歯肉を剥離する必要がない場合
- フラップレスの術式では、適切な埋入窩を形成するために、軟組織の厚みをプローブで測定します。軟組織の厚みを考慮して、ドリリングの深さを決定してください。

注意：

インプラント埋入部位の骨量および血管、神経、陥凹部などの重要な解剖学的構造を確認してください。X線撮影、プロービング、触診など、従来通りの診断ツールで確認してください。

DRILL 骨質に応じたドリル・プロトコル sequence

イラストは、ノーベルアクティブ RP 4.3 × 13 mm のインプラントを埋入するドリル手順を骨質別に示しています。ノーベルアクティブ3.0の手順は28ページをご覧ください。

軟らかい骨質



中程度の硬さの 骨質



緻密な骨質



骨質*に応じたドリル・プロトコル

ドリリング中は骨質に注意を払います。推奨ドリル手順は骨質が基準となっており、即時負荷を適用する際にインプラントの最適な初期固定を得るためにものです。ドリルのサイズはミリメートルで記載されています。

プラットフォーム	軟らかい骨質 タイプIV	中程度の硬さの骨質 タイプII ~ III	緻密な骨質 タイプI
3.0	1.5	2.0	2.0 2.4/2.8
NP 3.5	2.0 (2.4/2.8)	2.0 2.4/2.8 (2.8/3.2)	2.0 2.4/2.8 2.8/3.2
RP 4.3	2.0 2.4/2.8 (2.8/3.2)	2.0 2.4/2.8 3.2/3.6	2.0 2.4/2.8 3.2/3.6 (3.8/4.2)
RP 5.0	2.0 2.4/2.8 3.2/3.6	2.0 2.4/2.8 3.2/3.6 3.8/4.2	2.0 2.4/2.8 3.2/3.6 3.8/4.2 (4.2/4.6)
WP 5.5	2.0 2.4/2.8 3.2/3.6 (3.8/4.2)	2.0 2.4/2.8 3.2/3.6 3.8/4.2 4.2/4.6 (4.2/5.0)	2.0 2.4/2.8 3.2/3.6 3.8/4.2 4.2/5.0 タップ

備考: 単位はすべてミリメートルです。

括弧内のドリルは、皮質骨のみ拡大したい場合に使用し、インプラントの長さに対応する深さまでドリリングは行わないでください。

ドリリングは高速回転 (2,000 rpm以下) でツイストドリルまたはツイストステップドリルを使用し、生理食塩水で十分な注水をしながら行います。

埋入窩の形成

- 骨の過熱を避けるため、イン・アンド・アウトの方法で1~2秒間骨をドリリングします。
- ハンドピースのモーターを止めずにドリルを骨から抜きます。これにより注水で骨片を洗い流すことができます。
- 骨質およびインプラントの径に応じて、希望する深さまで、この方法でドリリングを続けます。
- 注水されていないときは、ドリリングを中止してください。
- 隣接歯がコントラアングルヘッドを干渉し、希望する深さのドリリングの妨げとなる場合、ドリルエクステンション・シャフトを使用することができます。

形成部位の深さ

軟らかい骨質では、インプラントのセルフ・ドリリング機能により、従来のインプラントより小さめに形成した部位に埋入できます。これは解剖学的制限領域において有用です。また、軟らかい骨質においても、骨を圧縮する特徴を活かし、インプラントを埋入できます。骨を圧縮する特徴を活かす場合は、インプラントの全長よりも2~4 mm短くドリリングし、まずドリルした深さまでインプラントを埋入してから、インプラントが目的の深さに達するまで埋入します。

– ドリルエクステンションシャフトは、埋入部位形成用のドリルとともに使用するものです。インプラントドライバーと使用することは推奨されていません。

– ドリルエクステンションシャフトを使用する場合は、ドリルの先端まで確実に冷却するためにハンドピースからだけでなく外部からマニュアルで注水を補うことが重要です。

– ツイストドリルとツイストステップドリルは、1回の手術でのご使用を推奨します。タップは滅菌した状態で納品されます。複数回のご使用が可能です。洗浄・滅菌については、「洗浄と滅菌」のページをご参照ください。

緻密な骨質の場合

- 細密な骨質ではセルフ・ドリリング機能を使用しないでください。
- 細密な骨質で、上表に記載のドリル・プロトコルでは、インプラントが希望の深さに埋入できない場合、過剰なトルク (NP、RP、WPの最大トルクは70 Ncm、3.0の最大トルクは45 Ncm) がかかるのを防ぐため、タップを使用してください。

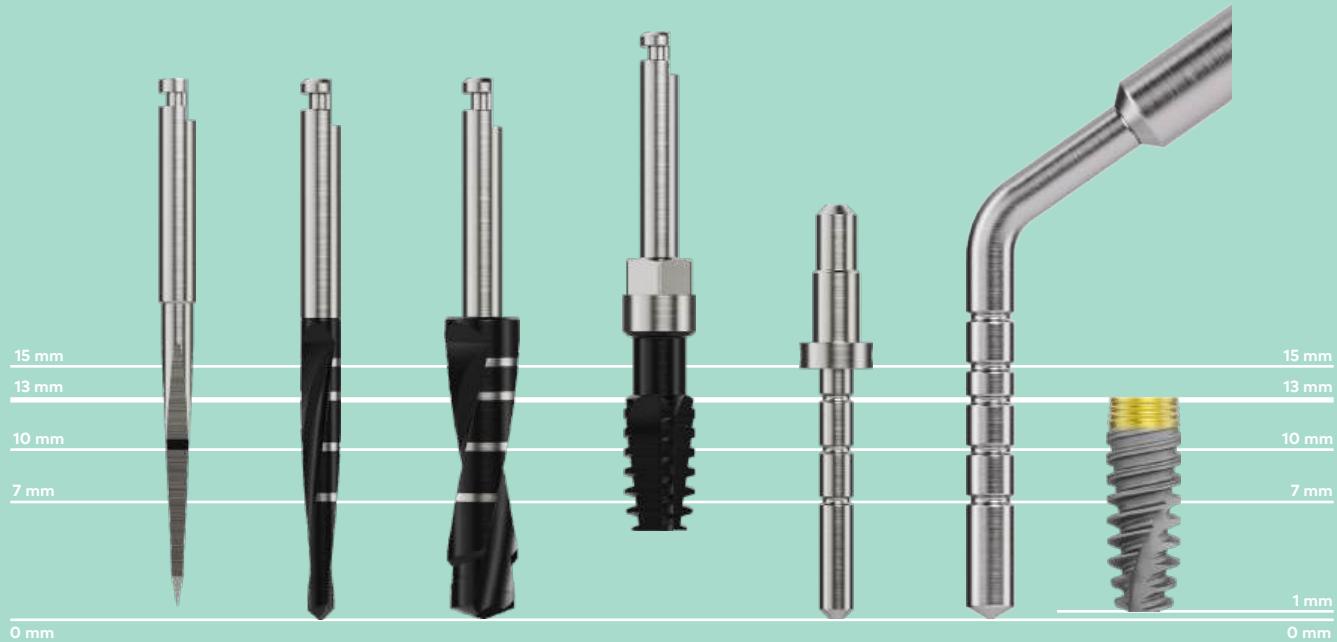
緻密な骨質における埋入窩形成

緻密な骨質におけるインプラント埋入およびタップのご使用については、17ページおよび21ページをご覧ください。

*Ulf Lekholm, George A. Zarbによる顎骨の形態および骨質分類

In: Bränemark PI, Zarb GA, Albrektsson T, editors: *Tissue-integrated prostheses: Osseointegration in clinical dentistry*. Quintessence, Chicago, 1985, pp 199-209.

深さの測定システム



インプラント埋入部位の適切な深さを計画通りに形成するため、すべてのドリルとコンポーネントには目盛りが付いています。ドリルには7~10 mm、7~15 mm、10~18 mmの長さのものがあります。長さの目盛りについては、上記イラストをご覧ください。

ドリルには、8.5 mmおよび11.5 mmのレーザー マークはありません。8.5 mmは7 mmと10 mmの間、11.5 mmは10 mmと13 mmの間を目安にします。

注意: ツイストドリルおよびツイストステップドリルの先端は、インプラントの長さよりも約1 mm長くなっています。骨量に制限がある部位をドリリングするときにはこの追加の長さを必ず考慮してください。

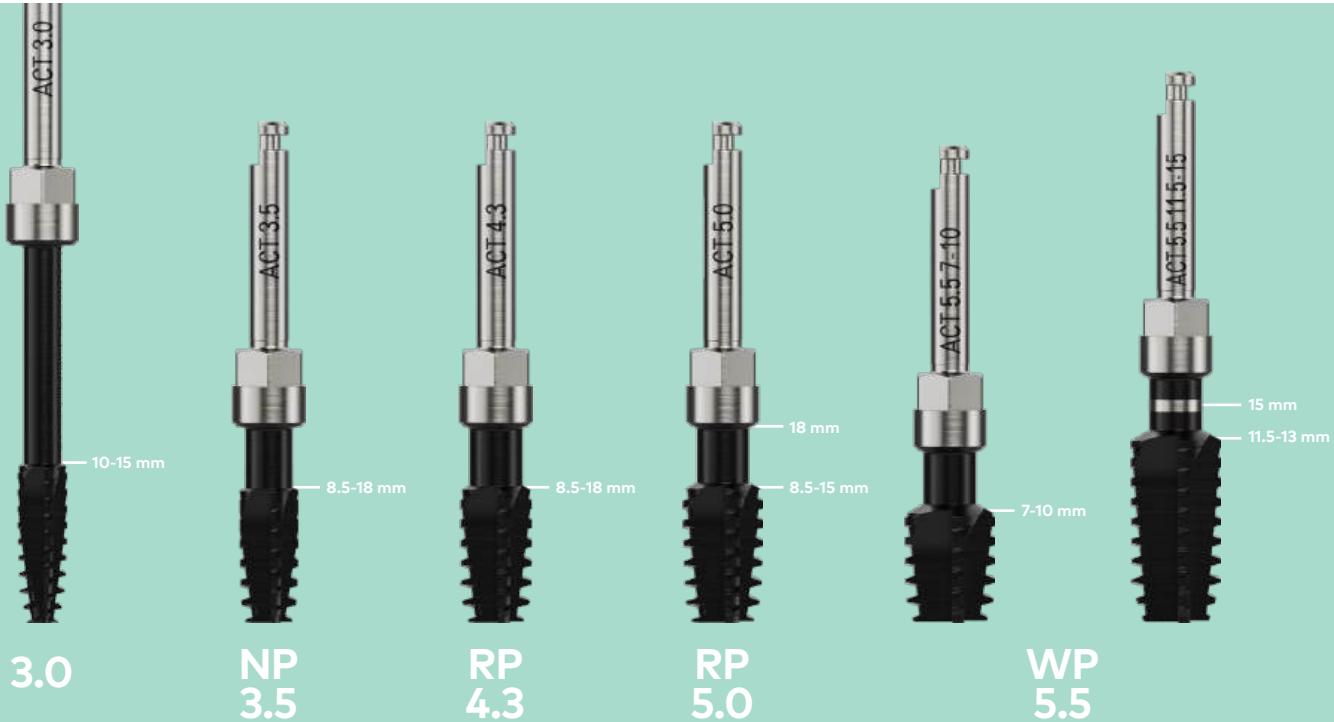
ツイストドリルおよびツイストステップドリルの目盛りは、実際のミリメートルの長さを示し、インプラント・カラー上部に対応しています。上図をご参照ください。最終的な埋入深度・位置は、以下の臨床上の様々な要因によって決定されます。

- 審美性
- 齒肉の厚さ
- 骨の垂直的高さ、幅
- フラップレスの術式では、適切な埋入窩を形成するために、軟組織の厚みをプローブで測定します。軟組織の厚みを考慮して、ドリリングの深さに加えてください。

備考:

ドリルは外科用ステンレス・スチール製で、アモルファスダイヤモンド・コーティング処理が施されているため、黒い色を呈しています。ドリルは外部注水しながら使用します。

緻密な骨質におけるタップの使用



緻密な骨質におけるインプラント埋入手順

インプラント埋入中にインプラントが強い抵抗を感じ、それ以上埋入できなくなった場合、または計画通りの深さに到達する前に最大トルク値に達した場合は次のいずれかの手順を行ってください。

- インプラントのセルフタップ機能を利用して、インプラントを約1/2回転、反時計方向に戻してから、埋入を続けます。
- それでも強い抵抗が残る場合は、まずインプラントを取り外して滅菌チタン容器に戻します。デブスゲージまたはドリルを使って埋入部位の深さを確認し、15ページに記載のドリルプロトコルに従って、皮質骨または目的の深さまで形成窩を広げます。

c) または、インプラントの直径に合ったノーベルアクティブ用タップを選択し、希望する深さまでタップを使用します。

- 形成したインプラント埋入窩にタップを挿入します。
- スレッドが形成窩にはまつたら、低速(25 rpm)で適切な形成窩の方向へゆっくりと回転させ、力を加えずに必要な深さまで進めます。
- ハンドピースをリバース・モードに切り替え、タップをゆっくりと逆回転させながら抜き、形成部位を損傷しないようにします。タップは引っ張らないでください。

ノーベルアクティブ 3.0インプラントの場合は最大45 Ncm、ノーベルアクティブ NP/RP/WPインプラントの場合は最大70 Ncmのトルク値で、目的のポジションに達するまでインプラントの埋入を続けます。

フラップレスの術式

フラップレスの術式では、以下2つのオプションAまたはBを選択し、その後は19ページのNo.3の手順に進みます。

オプションA：チップ付ツイストドリルφ2 mm

チップ付ツイストドリルφ2 mmを使用して適切な深さまでドリリングします。ドリルストップを使用できます。

⌚ 2000 rpm以下

備考：軟組織の厚みをプローブで測定します。埋入部位を適切に形成するために、ドリリングの深さに軟組織の厚みを加えてください。また、解剖学的指標にも注意してください。

注意：ツイストドリルおよびツイストステップドリルの先端は、インプラントの長さよりも約1 mm長くなっています。骨量に制限がある部位をドリリングするときにはこの追加の長さを必ず考慮してください。

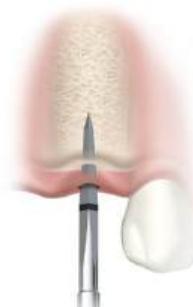


オプションB：プレシジョンドリル

最初に軟組織を貫通させ、歯槽頂のスタート・ポイントを作成しやすくするために、チップ付ツイストドリルφ2 mmの前にプレシジョンドリルを使用することができます。

軟組織を通り、歯槽頂に到達するまでプレシジョンドリルでドリリングします。

⌚ 2000 rpm以下



歯肉剥離による術式

下記イラストは、ノーベルアクティブ RP 4.3 mmのインプラントを中程度の硬さまたは緻密な骨に埋入するドリル手順を示しています。

その他の直径のインプラントまたは異なる骨質については、15ページのドリル・プロトコルをご覧ください。

また、ノーベルアクティブ 3.0の手順は28ページをご覧ください。

1 歯肉剥離

歯肉剥離による術式を用いる場合は、適切に切開してフラップを剥離してください。



2 プレシジョンドリルでドリリング (オプション)

歯槽頂のスタート・ポイントを作成しやすくするために、チップ付ツイストドリル Ø 2 mmの前にプレシジョンドリルを使用することもできます。

© 2000 rpm以下



3 チップ付ツイストドリル Ø 2 mmでドリリング

チップ付ツイストドリル Ø 2 mmを使用して、適切な深さまでドリリングします。ドリルストップを使用できます。

© 2000 rpm以下



4 方向性の確認

Ø 2.0/2.4-2.8 mm の方向指示棒を使用して、正しい方向にドリリングされているかを確認します。

備考：

- 必要に応じて、X線撮影をして正しい方向にドリリングされていることを確認します。
- 複数のインプラントを埋入する場合は、次のドリルステップに進む前に他のインプラント埋入部位に進んでください。



5 ツイストステップドリルでドリリング

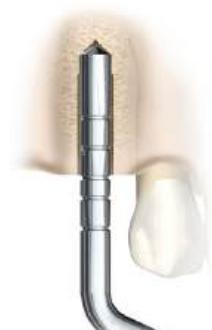
- ツイストステップドリル Ø 2.4/2.8 mm を使用して、インプラント埋入部位の形成を続けます。
- Ø 2.0/2.4-2.8 mm の方向指示棒を使用して、方向性を確認します。
- ツイストステップドリル Ø 3.2/3.6 mm を使用して、インプラント埋入部位の形成を続けます。

© 2000 rpm以下



6 インプラントの長さの決定

デプスプローブを使用して、形成窩の深さを確認します。
(必要に応じて、軟組織の厚みを含めます。)



7 繊密な骨質：皮質骨の拡大

ツイストステップドリル Ø 3.8/4.2 mmを使用して、皮質骨部位を拡大します。インプラントの長さに対応する深さまでドリリングは行わないでください。

④ 2000 rpm以下



8 繊密な骨質：タップの使用

- 形成したインプラント埋入窩にタップを挿入します。
- スレッドが形成窩にはまつたら、低速 (25 rpm) で適切な形成窩の方向へゆっくりと回転させ、力を加えずに必要な深さまで進めます。
- ハンドピースをリバース・モードに切り替え、ゆっくりと逆回転させながら抜き、形成部位を損傷しないようにします。タップは引っ張らないでください。

低速 25 rpm ① 45 Ncm以下

備考：タップ WP は、インプラントの長さに応じて 2 種類よりお選びいただけます。

WP インプラント 7 mm、8.5 mm、10 mm は、タップ WP 5.5 7-10 mm をご使用ください。

WP インプラント 11.5 mm、13 mm、15 mm は、タップ WP 5.5 11.5-15 mm をご使用ください。



タップ WP 5.5 11.5-15 mm には、WP インプラント 15 mm 用のラインが入っています。

インプラント埋入

1 パッケージの開封

各インプラントは二重滅菌包装されています。外箱には、該当インプラントのサイズとカラーコードが表示されており、開封せずにインプラントの種類、直径、長さが簡単に識別できます。

- 外装ビニールをはがして、外箱 (a) からブリスター/パッケージ (b) を取り出します。
- ブリスター/パッケージから滅菌済みプラスチックケース (c) を滅菌領域へ取り出します。
- プラスチックケースからチタン製スリーブ (d) を取り出し、チタン製スリーブのキャップを外します。
- 外箱に同梱されている記録用ラベル (e) 4枚の内、1枚を患者カルテに貼付し、記録（インプラントのサイズとロット番号）を残します。

※識別コード付きラベル1枚（右図一番下）は専用システム上でロット番号やシリアルなどが読み取れるものです。現状は記録用ラベルの内1枚を保管いただければ問題ございません。

備考：TiUnite表面のノーベルアクティブ・インプラントWPにはカバースクリューが付属しておりますが、それ以外のTiUnite表面（3.0/NP/RP）およびTiUltra表面（3.0/NP/RP/WP）のノーベルアクティブ・インプラントにはカバースクリューが付属しておりません。必要に応じて、別途ご購入ください。



a) 外箱

チタンスリーブのキャップは
インプラントの直径に応じ
て色が異なります。



b) ブリスター/パッケージ



c) プラスチックケース



d) チタン製スリーブ



e) 記録用ラベル*

2 インプラント埋入用インストルメントの選択

臨床状況および部位に応じて、ノーベルアクティブ・インプラントの埋入には3つの選択肢があります。

マニュアルで埋入：

- a) 外科用トルクレンチ・ノーベルアクティブ
- b) サージカルドライバー（前歯部のみ）

ドリルユニットで埋入：

- c) ドリルユニット+コントラangled・ハンドピース

備考：

- 前歯部では、サージカルドライバーを使ってインプラントを埋入できます。
- サージカルドライバーは、指の力だけで使用するよう設計されています。手のひら全体で使用すると、過剰な埋入トルクがかかる恐れがありますのでご注意ください。
- ノーベルアクティブ 3.0は、外科用トルクレンチ・リプレイス、または補綴用トルクレンチと外科用トルクレンチ・アダプター・リプレイスを組み合わせて使用することもできます。（45 Ncmのラインが入っているため）但し、70 Ncmのラインは入っていないので、NP/RP/VWPには、外科用トルクレンチ・ノーベルアクティブをご使用ください。



a) 外科用トルクレンチ・ノーベルアクティブ



b) サージカルドライバー



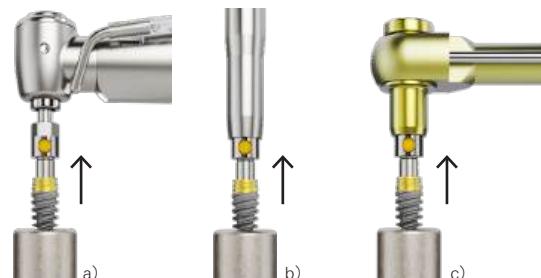
c) ドリルユニット+コントラangled・ハンドピース

3 インプラントのピックアップ

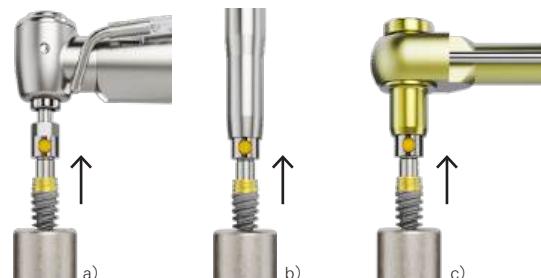
- 適切なインプラントドライバー・CCを埋入用インストルメントに接続します。
- インプラントドライバーを使用して、チタン製スリーブからインプラントをピックアップします。ピックアップする際には、インプラントドライバーに軽く力を加え、しっかりとはまるように、チタン製スリーブ内で反時計回りに慎重に回します。

備考：インプラントドライバーには黒いラインがあり、インプラントドライバーを挿入する際、また、インプラント埋入時の方向決めの目安となります。

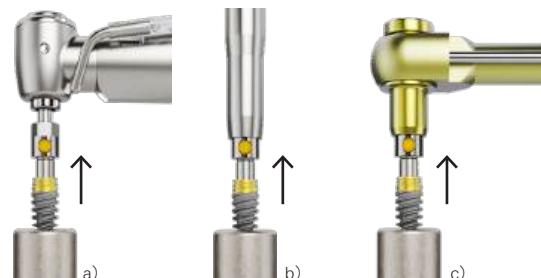
注意：インプラントドライバーが完全に装着されていることを確認します。



a)



b)



c)



4 インプラントの埋入 (ドリルユニット+コントラangled・ハンドピース)

- ドリルユニットを 低速 (25 rpm) に設定し、インプラントの埋入を開始します。
- 埋入が完了したら、軽く上にあげて、インプラントからドライバーを外します。

低速 ① 25 rpm

トルク値

3.0 : 45 Ncm 以下

NP/RP/WP : 70 Ncm 以下



5 インプラントの埋入 (マニュアル)

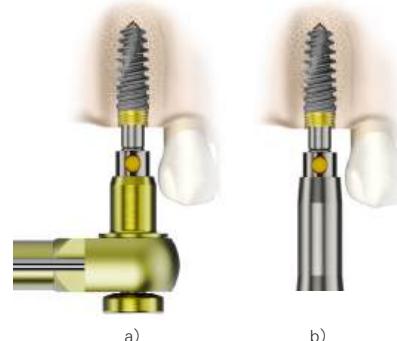
- a) 外科用トルクレンチを使用する場合：

インプラントドライバー・CCを外科用トルクレンチ・ノーベルアクティブ (図 a) に接続し、希望する深さまでインプラントを埋入します。

- b) サージカルドライバーを使用する場合：

インプラントドライバー・CCをサージカルドライバー (図 b) に接続し、希望する深さまでインプラントを埋入します。

- 埋入が完了したら、軽く上にあげて、インプラントからドライバーを外します。

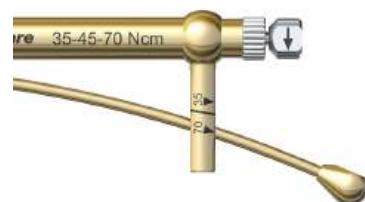


備考：

- 埋入時は、ドライバーがインプラントの直線上にあることを確認してください。
- インプラントドライバーが取り外しにくい場合は、上に動かす前に、インプラントドライバーを反時計方向に少し回転します。

注意：インプラントの締め付けトルクはNP/RP/WPが最大70 Ncm、3.0が最大45 Ncmで、外科用トルクレンチ・ノーベルアクティブで測定できます。インプラントをきつく締め付け過ぎないようしてください。締め付け過ぎると、インターナル・コネクションが破損したり、周囲の骨に過剰な圧力が加えられ、オッセオインテグレーションを損なう恐れがあります。

即時負荷の術式を用いるには、インプラントの最終締め付けトルクを35 Ncm以上得る必要があります。



外科用トルクレンチ・ノーベルアクティブには、35 Ncm、45 Ncm、70 Ncmに目盛りがあります。

緻密な骨質の場合

緻密な骨へのインプラント埋入およびタップのご使用については、17ページおよび21ページをご覧ください。

6 埋入深度の決定

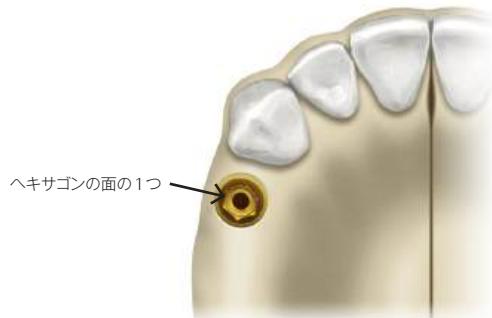
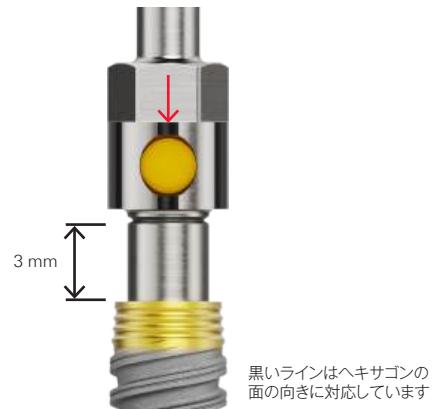
- アバットメント・マージン(形状) や歯肉の厚み、補綴装置のデザインを考慮して適切な深さに計画し、骨縁下に埋入します。



7 プラットフォームの位置づけ

- インプラントを埋入するときは、インプラントドライバーの黒いラインの1つを唇頬側に向けます。(旧タイプのインプラントドライバーの場合は窪みの1つを唇頬側に向けます。)
こうすることにより、好ましい補綴/アバットメント方向となるように、ヘキサゴンが配置されます。

インプラントドライバー・CCにはラップレス術式を使用する場合のために、3 mmの高さの目盛りがあります。







ノーベルアクティブ 3.0 および特別な外科術式

ノーベルアクティブ 3.0 28

特別な外科術式 30

ノーベルアクティブ 3.0

適用 (ノーベルアクティブ 3.0 インプラント)

- 上顎側切歯
- 下顎の中切歯および側切歯
- 上記埋入位置における単独歯の修復

上記の適用部位以外へのインプラント埋入および複数歯の修復は禁忌となります。

1 埋入部位の形成

骨質に応じたドリル・プロトコル (15ページを参照) に従って、埋入窩を形成します。

2 インプラントのピックアップ

インプラントのパッケージを開け、内側の滅菌済みチタン製スリーブを滅菌領域に取り出します。チタン製スリーブのキャップを外し、インプラントドライバー・ノーベルアクティブ 3.0を使用して、インプラントをピックアップします。

3 インプラントの埋入

- ドリル・ユニットまたは外科用トルクレンチを使用して、低速（最大 15 rpm）でインプラントを埋入します。
- 最大トルク 45 Ncm を超えないように注意し、インプラントを埋入します。即時負荷プロトコルを実施する場合は、インプラントの最終締め付けトルク 35 Ncm が得られる必要があります。

備考：ノーベルアクティブ 3.0 は、外科用トルクレンチ・リプレイス、または補綴用トルクレンチと外科用トルクレンチ・アダプター・リプレイスを組み合わせて使用することもできます。
(45 Ncm のラインが入っているため)



強い抵抗を感じた場合

インプラントを埋入する際、締め付け過ぎるなど、過度な力を加えないようにします。締め付け過ぎると、インプラントまたは連結部が破損したり、周囲の骨に過剰な圧力が加えられ、オッセオインテグレーションを損なう恐れがあります。

- 埋入時に強い抵抗（45 Ncm 近く）を感じた場合は、インプラントのセルフタップ機能を利用して、インプラントを約 1/2 回転、反時計方向に戻してから、埋入を続けます。
- それでも強い抵抗が残る場合は、まずインプラントを取り外して滅菌チタン容器に戻します。皮質骨または目的の深さまで形成窩を広げる、またはインプラントの径に合ったタップの使用をお奨めします。

4 テンポラリーレストレーション

外科プロトコルの選択により、カバースクリューまたはアバットメントを装着し、軟組織を縫合します。

注意：ノーベルアクティブ 3.0 用アバットメントスクリュー締め付けトルクは最大 15 Ncm です。締め付け過ぎるとスクリューが破損する恐れがあります。



特別な外科術式

ノーベルアクティブ・インプラントは独自のセルフドリーリング機能と骨を圧縮する特徴があるため、臨床的に条件の厳しい状況においてもインプラントの埋入が行えます。この機能により、骨量が限られた場合でも良好な初期固定が得られ、抜歯部位への埋入など、様々な臨床状況に適用できます。

1 骨量が限られている大きな抜歯窩での固定

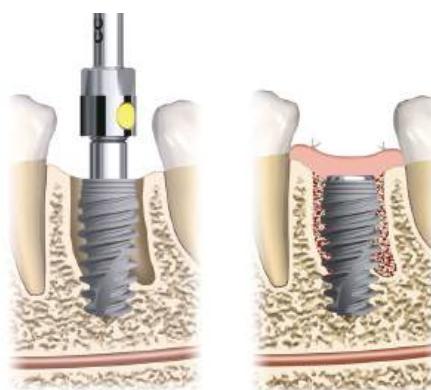
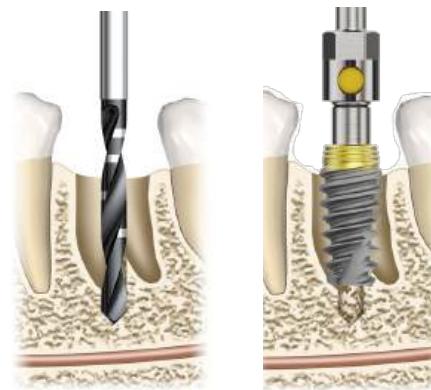
ノーベルアクティブ・インプラントの独自のデザイン特性により、骨量が限られている症例においても、インプラントの固定が得られます。

備考：

- この場合、1回法の外科術式は推奨されません。
- ノーベルアクティブ NP (ナロー・プラットフォーム) の臼歯部へのご使用は、インプラントに過剰な負荷がかかることが懸念されるため特に注意が必要です。
- 特別なデザインにより、ノーベルアクティブ・インプラントは、従来よりも小さい直径の形成窩に埋入できます。
- チップ付ツイストドリルの 2 mm またはプレシジョンドリルを使用して、抜歯窩の歯根尖に向けてドリーリングします。
- インプラント径および骨密度に応じて、15ページに記載されているドリル・プロトコルに従い埋入部位の形成を続けます。
- 前述のように、小さめに形成を行った部位へのインプラントの埋入を開始します。トルクは推奨する最大トルク値 70 Ncm を超えないようにしてください。

注意：インプラントを埋入する際、締め付けすぎるなど、過度な力を加えないようしてください。骨が過度に圧迫され、壊死したり、結果が損なわれたりするなど、骨に悪影響を及ぼす恐れがあります。埋入時に強い抵抗 (NP/RP/WP は 70 Ncm 近く) を感じた場合は、インプラントのセルフタップ機能を利用して、インプラントを約 1/2 回転、反時計方向に戻してから、埋入を続けます。それでも強い抵抗がある場合は、インプラントを取り外して滅菌容器に戻し、抵抗を減らすために形成窩をさらに広げる、またはインプラントの径に合ったタップの使用をお奨めします。

- 独自のスレッド・デザインおよび骨を圧縮する特徴により、インプラントの支持と固定が得られます。
- 必要な場合、同時に骨増生を行います。
- カバースクリューを装着し、縫合します。



2 軟らかい骨質での固定

ノーベルアクティブ・インプラントの独自のデザインにより、小さく形成した形成窩への埋入が可能であり、インプラントの全長にわたり、骨を圧縮します。

- チップ付ツイストドリル Ø 2 mmを使用してドリリングします。
- インプラント径および骨密度に応じて、15ページに記載されているドリル・プロトコルに従ってドリリングを続けます。
- 前述のように、小さめに形成を行った部位へインプラントの埋入を開始します。トルクは推奨する最大トルク値を超えないようにしてください。

注意：インプラントを埋入する際、締め付けすぎるなど、過度な力を加えないようにしてください。骨が過度に圧迫され、壊死したり、結果が損なわれたりするなど、骨に悪影響を及ぼす恐れがあります。埋入時に強い抵抗を感じた場合は、インプラントのセルフタップ機能を利用して、インプラントを約 1/2 回転、反時計方向に戻してから、埋入を続けます。それでも強い抵抗がある場合は、インプラントを取り外して滅菌容器に戻し、抵抗を減らすために皮質骨または目的の深さまで形成窩をさらに広げる、またはインプラントの径に合ったタップの使用をお奨めします。

- 独自のスレッド・デザインおよび骨を圧縮する特徴により、インプラント全体でインプラントの支持と固定が得られます。



上図のインプラントドライバーは、旧タイプです。

3 前歯部抜歯窩への埋入

上顎前歯部で審美性を得ることは非常に困難であり、非常に厳しい治療と考えられています。通常、唇側プレートは非常に薄く、存在しない場合も多々あります。しかし、骨の高さと軟組織の構造を維持するには、インプラントに対して1.5 mm以上の唇側骨の厚さが必要です。



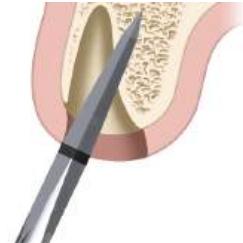
通常の手順に従って抜歯および抜歯窩の搔爬を行います。

オプション：

プレシジョン・ドリル

- 抜歯窩の口蓋側でのスタート・ポイントを作成するために、チップ付ツイストドリル Ø 2 mmの前にプレシジョンドリルをご使用いただけます。

© 2000 rpm 以下

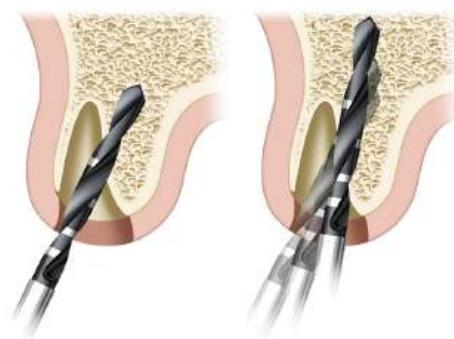


ドリル手順

- 上顎前歯部では、インプラントの固定を得るために、残っている抜歯窩の口蓋骨の先端1/3～1/2を利用します。プレシジョンドリルまたはチップ付ツイストドリル Ø 2 mmを使用して、スタート・ポイントを得るために、口蓋側壁に対して垂直な角度から形成を開始します。

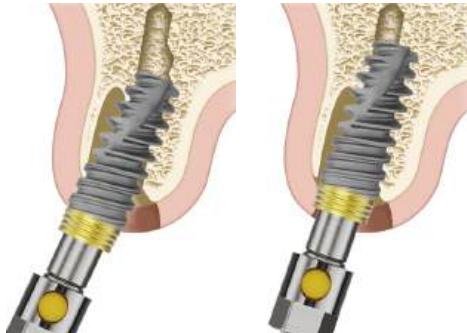
備考：適切な埋入窩を形成するために、軟組織の厚みをプローブで測定します。軟組織の厚みを考慮して、ドリリングの深さを決定してください。解剖学的指標にも注意してください。

- チップ付ツイストドリル Ø 2 mmで順次、咬合面に対してより垂直の方向に変更しながらドリリングを続けます。
- インプラント径および骨密度に応じて、15ページに記載されているドリル・プロトコルに従って、上記のようにドリリングを続けます。

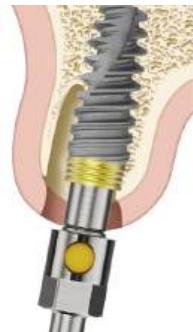


インプラント埋入

- ドリリングした形成窩に沿って、インプラントを埋入します。トルクはNP/RP/WPは70 Ncmを、3.0は45 Ncmを超えないようしてください。
- インプラントを希望する深さまで埋入します。



注意：インプラントを埋入する際、締め付けすぎると、過度な力を加えないようにしてください。骨が過度に圧迫され、壊死したり、結果が損なわれたりするなど、骨に悪影響を及ぼす恐れがあります。埋入時に強い抵抗(NP/RP/WPは70 Ncm近く、3.0は45 Ncm近く)を感じた場合は、インプラントのセルフタップ機能を利用して、インプラントを約1/2回転、反時計方向に戻してから、埋入を続けます。それでも強い抵抗がある場合は、インプラントを取り外して滅菌容器に戻し、抵抗を減らすために形成窩をさらに広げる、またはインプラントの径に合ったタップの使用をお奨めします。



- 前歯部では、埋入方向をコントロールしやすいよう、サージカルドライバーの使用も推奨します。サージカルドライバーは、過度の埋入トルクが加わらないよう、指先だけで持つよう設計されています。



注意：インプラントをきつく締め付け過ぎないようにしてください。締め付け過ぎると、インターナル・コネクションが破損したり、周囲の骨に過剰な圧力が加えられ、オッセオインテグレーションを損なう恐れがあります。



補綴術式

重要な注意事項 36

インプラント手術の最終手順 38

2回法遅延負荷 39

1回法早期 / 遅延負荷 39

1回法即時負荷 40

重要な注意事項

独自の補綴連結様式

- インターナル・コニカル・コネクション – 連結部の高い密着性および高い機械的強度を提供します。
- プラットフォーム・シフティング – 齒肉の厚みを向上するよう設計されています。
- ヘキサゴナル・インターロッキング – 補綴コンポーネントの確実な装着を可能にします。
- 2種類のコネクションが可能に – 通常のアバットメントおよびノーベルプロセラ インプラント ブリッジにも適応。補綴の柔軟性を可能にします。



アバットメントのコニカル・コネクション



インプラントレベルのノーベルプロセラ インプラント ブリッジのショルダー部分の接合

インプラントブリッジ用印象用コーピング

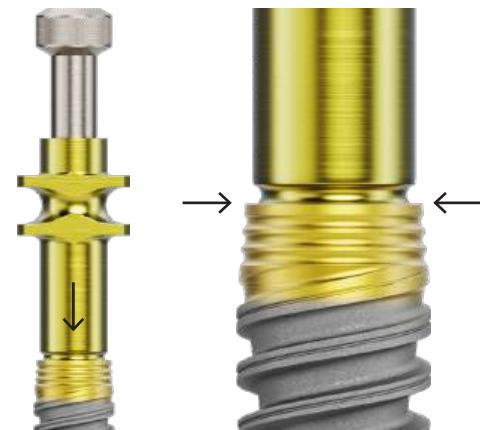
プラットフォーム周囲の良好な軟組織マネジメントを実行するため、ノーベルプロセラ インプラント ブリッジまたはその他のフルアーチ・ソリューションを用いて修復する場合、印象用コーピング・ブリッジ オープントレー用およびヒーリング・アバットメント・インプラントブリッジ用をご使用ください。



印象用コーピングの装着

正しい印象採得には印象用コーピングの正しい装着が重要です。

印象用コーピングが正しく装着されていることを確認するには、印象用コーピングの溝の下端がインプラントのショルダー部分とほぼ一致することを確認します。必要に応じて、X線撮影を行います。



アバットメントの装着

アバットメントを正しい位置に装着することは、理想的な補綴修復の実現に重要であり、また長期的な予後に大きく影響します。アバットメントのインプラントへの正しい装着は、X線撮影によって確認することもできます。

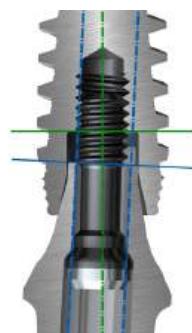
1. アバットメントをインプラントに装着し、慎重に回転させて押すことで、アバットメント先端の六角部が正しくはまるることを確認します。
2. アバットメントが水平方向および垂直方向においても正しく装着されていることを確認します。
3. スクリューを締め付けます。但し、最終トルクまでは締め付けません。
4. アバットメントがインプラントへ完全に装着されていることをX線撮影で確認します。
 - 妨げとなっている骨がないこと
 - インプラントの長軸とアバットメントが互いに並行になっていること
 - インプラントとアバットメントの接合面に隙間がないこと
 - 接合面の底部が平行であり、かつ1 mm未満のスペースが確認できること
5. アバットメントスクリューを最終トルクまで締め付けます。NP/RP/WP用アバットメントは35 Ncm、3.0用アバットメントは15 Ncmです。



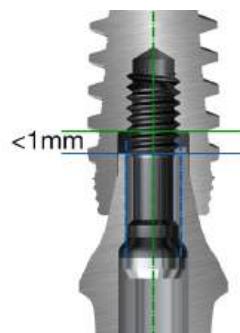
アバットメントの最終位置において、接合面底部のスペースは1 mm未満です。



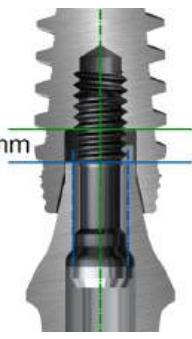
例1
骨が妨げとなり、アバットメントが完全に装着されていません。長軸が並行になっていません。接合面に隙間があります。接合面の底部が平行でないため、深さが1 mmを越えています。



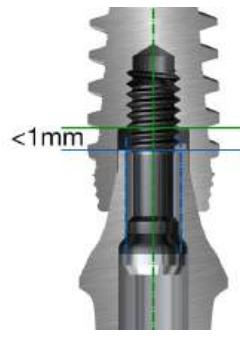
アバットメントが完全に装着された状態。上記の必須条件がすべて確認されています。



例2
アバットメントとインプラントの長軸は互いに並行になっているようですが、接合面底部の深さは1 mmを越えています。



アバットメントが完全に装着された状態。



インプラント手術の最終手順

インプラント手術の最終手順には、3種類のオプションがあります。



2回法 遅延負荷

ドライバー・ユニグリップを使用してカバースクリューをインプラントに装着します。
適切な方法で、軟組織を縫合します。

1回法早期/ 遅延負荷

On1 ベース・アバットメントにOn1 ヒーリング・キャップを装着する、またはインプラントにヒーリング・アバットメントを装着します。必要に応じて、軟組織を縫合します。

1回法 即時負荷

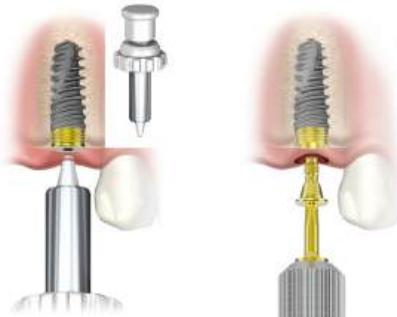
即時の審美性と即時負荷を実現するためには、ノーベルバイオケアのOn1 テンポラリーシリンダーまたはインプラントレベル用テンポラリー・アバットメントを使用します。

備考:最終補綴修復に、ノーベルプロセラ インプラント ブリッジ・インプラントレベル、ゴールドアダプト・アバットメント・ノンエンゲージング、ユニバーサルベース・ノンエンゲージングをご使用になる場合は、インプラントのプラットフォーム・レベルに軟組織の過成長を防ぐため、ヒーリング・アバットメント・インプラントブリッジ用をご使用ください。

2回法遅延負荷

1 2次手術

- 齒肉を切開し、カバースクリューを露出させます。十分な量の歯肉がある場合は、手用歯肉パンチを使用することもできます。
- 手用ドライバー・ユニグリップを使用して、カバースクリューを取り外します。



2 過成長した骨の除去

カバースクリュー上に骨の過成長がみられる場合は、バーで切削するかキュレットを使用して骨を除去します。ドライバー・ユニグリップの接続部を損傷しないように注意してください。

3 インプラント・プラットフォーム周囲の骨の除去

- カバースクリューを取り外した後、インプラント・プラットフォーム周囲の骨片を除去し、アバットメントが完全に装着できる状態にします。骨の過成長は、インプラントを骨縁下に深く埋入するケースで多く起ります。骨の除去は、ガイド付ボーンミルを使用することができます。
- ガイド付ボーンミルは、ハンドル・マシンインスツルメント用(29161)を取り付けてマニュアルで使用することも、コントラングル・ハンドピースに取り付けてマシンで操作することもできます。
- 低速(60 ~ 100 rpm)で十分な注水のとともに使用します。



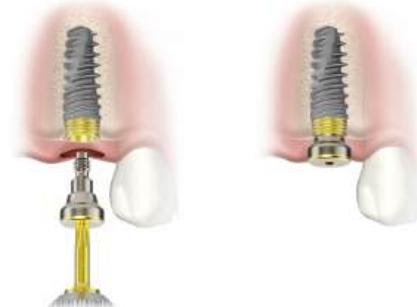
ガイド付ボーンミルは、インプラント・プラットフォームに対応するものを選択します。

1回法早期 / 遅延負荷

4 ヒーリング・アバットメントの装着

- 適切なヒーリング・アバットメントを選択し、手用ドライバー・ユニグリップを使用して装着します。
- 歯肉剥離の術式では、歯肉を縫合します。

代替法: 可能であれば、適切なドライバーを使用して、ファイナル・アバットメントを装着します。



1回法即時負荷

インプラントレベル・ 単独歯のテンポラリー・レストレーション

下記イラストは、テンポラリースナップ・アバットメント・エンジニアリングを用いた単独歯の暫間補綴修復の手順を示しています。インプラントの埋入トルクが35 Ncmに達した場合、1回法即時負荷の手順を用い、テンポラリー・アバットメントを使用した暫間補綴修復を行うことができます。

プロビジョナルは通常、即時負荷の症例で使用しますが、オプションとして、ヒーリング・アバットメント使用後に歯肉の形態を整える（ソフトティッシュ・マネジメント）目的で使用することもあります。

1 アバットメントの装着

- インプラントにアバットメントを装着します。必要に応じて、アバットメントの高さを調整し、クリアランスを確保します。
- アバットメントの修正はカーボランダムバー やカーバイドバーを使用して、十分な注水をして行います。口腔外での修正を推奨します。
- アバットメントをインプラントに装着し、適切な材料を用いてスクリューチャネルをブロックアウトします。テンポラリースナップ・アバットメントは試適時のスクリュー止めが不要です。



2 テンプシェルでテンポラリークラウンを製作（オプション A）

- テンプシェルを用いて、術前にテンポラリークラウンをデザインし、製作します。
- 試適用ウイングを臨在歯に被せ、テンポラリークラウンの適合性を確認します。
- 少量のアクリルまたはコンポジットを塗布し、クラウンを口腔内に装着します。
- レジンを硬化させ、テンポラリークラウンをピックアップします。
- クラウンを完成させます。シェルをアクリルまたはコンポジットで満たし、ウイングを取り外してクラウンを研磨します。軟組織に隣接する部分が滑らかであることが重要です。
- アピカルドリルおよびプロテクションアナログ/ドリルガイドを用いて、スクリューアクセスホールを設けます。



または（次ページに続く）

2 従来法によるテンポラリークラウンの製作 (オプションB)

- チェアサイドでテンポラリークラウンを製作するため、アクリル製テンプレートを使用します。
- 使用するマテリアルの使用方法に従って、硬化させます。
- 従来法に従って、クラウンを完成させます。軟組織に隣接する部分が滑らかであることが重要です。
- アピカルドリルおよびプロテクションアナログ/ドリルガイドを用いて、スクリューアクセスホールを設けます。



3 テンポラリークラウンの装着

- アバットメント・スクリューを用いてテンポラリーを装着します。
- マシン用ドライバー・ユニグリップと補綴用トルクレンチを使用して、35 Ncm で締め付けます。
- スクリュー・アクセスホールを適切な材料で封鎖します。

注意:

アバットメントスクリューを最終トルクまで締め付けます。NP/RP/WP用アバットメントは35 Ncm、3.0用アバットメントは15 Ncmです。アバットメントスクリューの推奨締め付けトルクを超えないようにしてください。
締め付け過ぎると、スクリューの破折を引き起こす可能性があります。



インプラントレベル・ 複数歯のテンポラリー・レストレーション

下記イラストは、テンポラリー・アバットメント・ノンエンゲージングを用いた複数歯の暫間補綴修復の手順を示しています。インプラントの埋入トルクが35 Ncmに達した場合、1回法即時負荷の手順を用い、テンポラリー・アバットメントを使用した暫間補綴修復を行うことができます。

プロビジョナルは通常、即時負荷の症例で使用しますが、オプションとして、ヒーリング・アバットメント使用後に歯肉の形態を整える(ソフトティッシュ・マネジメント)目的で使用することもあります。

1 アバットメントの装着

- インプラントにアバットメントを装着します。必要に応じて、アバットメントの高さを調整し、クリアランスを確保します。
- アバットメントの修正はカーボランダムバー やカーバイドバーを使用して、十分な注水をして行います。口腔外での修正を推奨します。
- 咬合平面を突き抜ける長さのガイドピンで、手用ドライバー・ユーニグリップを使用し、アバットメントを締め付けます。

備考:アバットメント・スクリューはアバットメントに同梱されています。ガイドピンは20 mm (標準サイズ) と30 mmの長さがあり、いずれも個別にご注文頂く必要があります。



2 テンプシェルでテンポラリーブリッジを製作 (オプション A)

- テンプシェルを用いて、術前にテンポラリーブリッジをデザインし、製作します。
- 試適用ウイングを臨在歯に被せ、テンポラリーブリッジの適合性を確認します。
- 少量のアクリルまたはコンポジットを塗布し、ブリッジを口腔内に装着します。
- レジンを硬化させ、テンポラリーブリッジをピックアップします。
- ブリッジを完成させます。シェルをアクリルまたはコンポジットで満たし、ウイングを取り外してブリッジを研磨します。軟組織に隣接する部分が滑らかであることが重要です。
- アピカルドリルおよびプロテクションアナログ/ドリルガイドを用いて、スクリューアクセスホールを設けます。

または (次ページに続く)

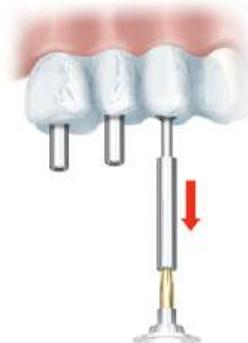
2 従来法によるテンポラリーブリッジの製作（オプションB）

- チェアサイドでテンポラリーブリッジを製作するため、アクリル製テンプレートを使用します。
- ガイドピンが突き出るよう穴を開けます。
- 歯科技工所でプロビジョナル・ブリッジを製作する場合、同様にガイドピンが突き出るよう、アクセスホールを設けます。
- テンプレートにアクリルまたはコンポジットを充填し、テンポラリー・アバットメントの上に被せます。



3 テンポラリー・レストレーションの調整

- 硬化後、ガイドピンを緩めて、テンポラリーを取り外します。
- テンポラリーのトリミングと研磨を行います。軟組織に隣接する部分が滑らかであることが重要です。

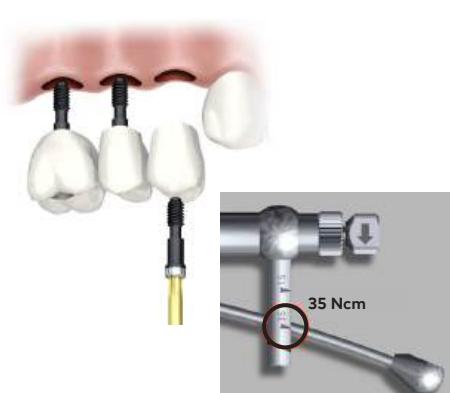


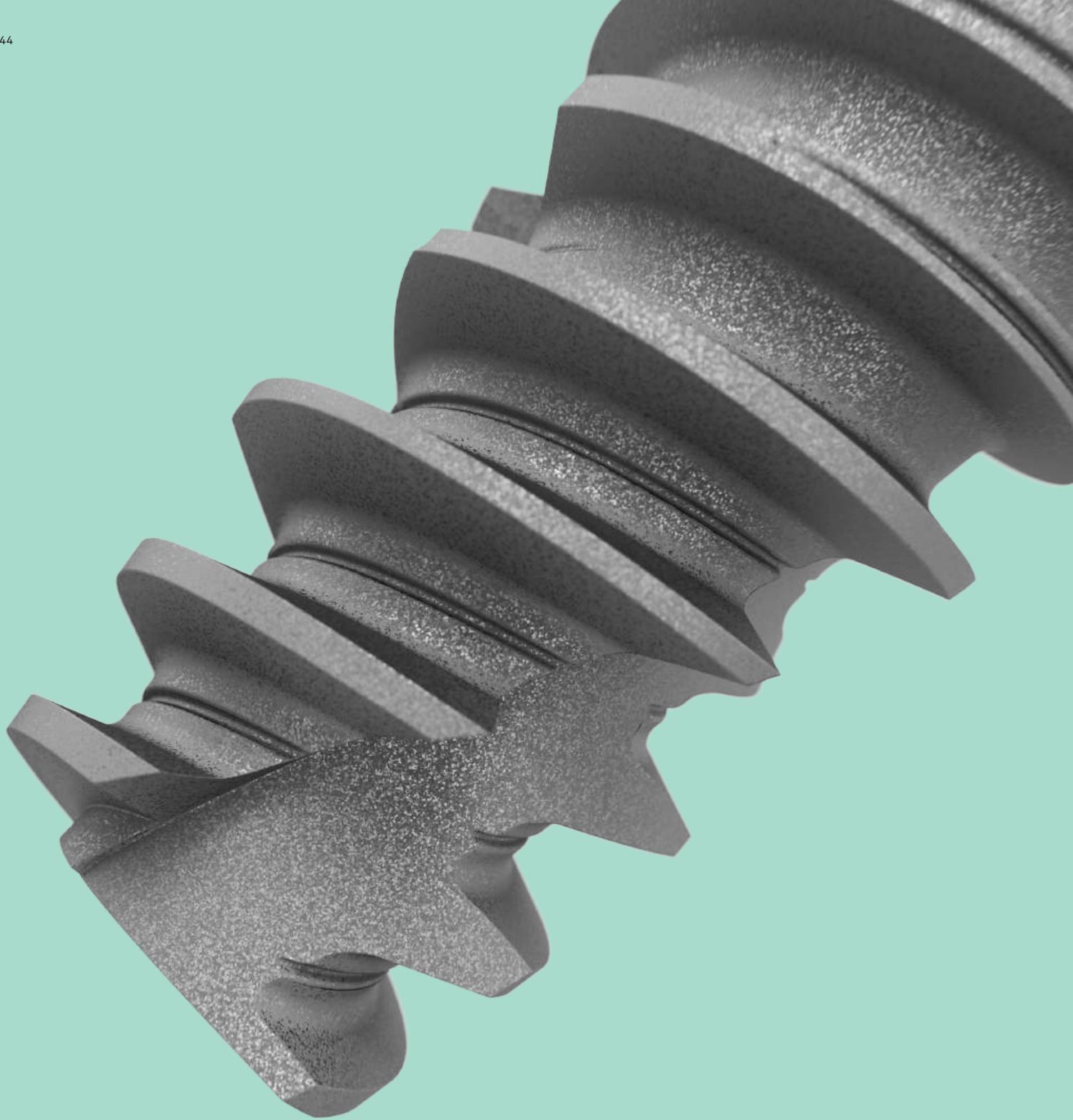
4 テンポラリーの装着

- アバットメント・スクリューを用いてテンポラリーを装着します。
- マシン用ドライバー・ユニグリップと補綴用トルクレンチを使用して、35 Ncmで締め付けます。
- スクリュー・アクセスホールを適切な材料で封鎖します。

注意：

アバットメントスクリューを最終トルクまで締め付けます。NP/RP/WP用アバットメントは35 Ncmです。アバットメントスクリューの推奨締め付けトルクを超えないようにしてください。
締め付け過ぎると、スクリューの破折を引き起こす可能性があります。





製品カタログ

フローチャート・ノーベルアクティブ 46

外科用キット 52

ドリルトップ 53

インプラント 54

外科用コンポーネント 55

ドレープキット / 補綴用ドライバー&キット 57

テンポラリー・コンポーネント 58

オッセオセット 300 60

マスターサージ LUX 61

コンフォルト II 用アクセサリー 62

フローチャート・ノーベルアクティブ

インプラント

3.0



ノーベルアクティブ 3.0

プラットフォーム径 \varnothing 3.0 mm

インプラント径 \varnothing 3.0 mm

アバットメント連結面径 \varnothing 2.5 mm

TiUnite

ノーベルアクティブ 3.0 \varnothing 3.0 \times 10 mm

36769

ノーベルアクティブ 3.0 \varnothing 3.0 \times 11.5 mm

36770

ノーベルアクティブ 3.0 \varnothing 3.0 \times 13 mm

36771

ノーベルアクティブ 3.0 \varnothing 3.0 \times 15 mm

36772

カバースクリューは付属していません。

TiUltra

ノーベルアクティブ 3.0 \varnothing 3.0 \times 10 mm

300240

ノーベルアクティブ 3.0 \varnothing 3.0 \times 11.5 mm

300241

ノーベルアクティブ 3.0 \varnothing 3.0 \times 13 mm

300242

ノーベルアクティブ 3.0 \varnothing 3.0 \times 15 mm

300243

カバースクリューは付属していません。

NP



ノーベルアクティブ インターナルNP

プラットフォーム径 \varnothing 3.5 mm

インプラント径 \varnothing 3.5 mm

アバットメント連結面径 \varnothing 3.0 mm

TiUnite

ノーベルアクティブ インターナル NP \varnothing 3.5 \times 8.5 mm

35221

ノーベルアクティブ インターナル NP \varnothing 3.5 \times 10 mm

34125

ノーベルアクティブ インターナル NP \varnothing 3.5 \times 11.5 mm

34126

ノーベルアクティブ インターナル NP \varnothing 3.5 \times 13 mm

34127

ノーベルアクティブ インターナル NP \varnothing 3.5 \times 15 mm

34128

ノーベルアクティブ インターナル NP \varnothing 3.5 \times 18 mm

35215

カバースクリューは付属していません。

TiUltra

ノーベルアクティブ インターナル NP \varnothing 3.5 \times 8.5 mm

300244

ノーベルアクティブ インターナル NP \varnothing 3.5 \times 10 mm

300245

ノーベルアクティブ インターナル NP \varnothing 3.5 \times 11.5 mm

300246

ノーベルアクティブ インターナル NP \varnothing 3.5 \times 13 mm

300247

ノーベルアクティブ インターナル NP \varnothing 3.5 \times 15 mm

300248

ノーベルアクティブ インターナル NP \varnothing 3.5 \times 18 mm

300249

カバースクリューは付属していません。

ドリル



ツイストドリル

\varnothing 1.5 \times 7-15 mm

31278

チップ付ツイストドリル

\varnothing 2 \times 7-15 mm

32297

\varnothing 2 \times 10-18 mm

32299

ツイストステップドリル

\varnothing 2.4/2.8 \times 7-15 mm

32261

\varnothing 2.4/2.8 \times 10-18 mm

32262

ドリルストップ



ドリルストップ

\varnothing 2 mm

33063

\varnothing 2.8 mm

33064

\varnothing 2.0 mm

33064

\varnothing 3.2 mm

33077

タップ



タップ・
ノーベルアクティブ
3.0 36816



タップ・
ノーベルアクティブ
NP 36236

インプラントドライバー	ヒーリング・アバットメント	ヒーリング・アバットメント・ インプラントブリッジ用	カバースクリュー	ボーンミル
 <p>インプラントドライバー・ ノーベルアクティブ</p> <p>3.0 28 mm 36773 3.0 37 mm 36774</p>	 <p>ヒーリング・アバットメント・ ノーベルアクティブ</p> <p>3.0 Ø 3.2 × 3 mm 36794 3.0 Ø 3.2 × 5 mm 36795 3.0 Ø 3.2 × 7 mm 36796 3.0 Ø 3.8 × 3 mm 36797 3.0 Ø 3.8 × 5 mm 36798 3.0 Ø 3.8 × 7 mm 36799</p>		 <p>カバースクリュー・ ノーベルアクティブ</p> <p>3.0 36775</p>	 <p>ガイド付ボーンミルCC 3.0 Ø 4.0 37861 ボーンミルガイドCC 3.0 37862</p>
 <p>インプラントドライバー・ ノーベルアクティブ</p> <p>NP 28 mm 36718 NP 37 mm 36719</p>	 <p>ヒーリング・アバットメント・ ノーベルアクティブ</p> <p>NP Ø 3.6 × 3 mm 36639 NP Ø 3.6 × 5 mm 36640 NP Ø 3.6 × 7 mm 36867 NP Ø 5 × 3 mm 36641 NP Ø 5 × 5 mm 36642 NP Ø 5 × 7 mm 36868</p>	 <p>Ø 4 mm Ø 3.5 mm</p> <p>ヒーリング・アバットメント・ ノーベルアクティブ・ インプラントブリッジ用</p> <p>NP Ø 4 × 3 mm 36864 NP Ø 4 × 5 mm 36865 NP Ø 4 × 7 mm 36866</p>	 <p>カバースクリュー・ ノーベルアクティブ</p> <p>NP 36649</p>	 <p>ガイド付ボーンミルCC NP Ø 4.4 37863 NP Ø 5.2 37864 ボーンミルガイドCC NP 37865</p>

・ガイド付ボーンミルは新旧または旧タイプ同士において寸法が異なるため、混同してご使用できませんので、ご注意ください。

フローチャート・ノーベルアクティブ

インプラント

RP



ノーベルアクティブ インターナルRP

プラットフォーム径 \varnothing 3.9 mm

インプラント径 \varnothing 4.3 mm

アバットメント連結面径 \varnothing 3.4 mm

TiUnite

- ノーベルアクティブ インターナル RP \varnothing 4.3 \times 8.5 mm 35223
 - ノーベルアクティブ インターナル RP \varnothing 4.3 \times 10 mm 34131
 - ノーベルアクティブ インターナル RP \varnothing 4.3 \times 11.5 mm 34132
 - ノーベルアクティブ インターナル RP \varnothing 4.3 \times 13 mm 34133
 - ノーベルアクティブ インターナル RP \varnothing 4.3 \times 15 mm 34134
 - ノーベルアクティブ インターナル RP \varnothing 4.3 \times 18 mm 35219
- カバースクリューは付属していません。

TiUltra

- ノーベルアクティブ インターナル RP \varnothing 4.3 \times 8.5 mm 300250
 - ノーベルアクティブ インターナル RP \varnothing 4.3 \times 10 mm 300251
 - ノーベルアクティブ インターナル RP \varnothing 4.3 \times 11.5 mm 300252
 - ノーベルアクティブ インターナル RP \varnothing 4.3 \times 13 mm 300253
 - ノーベルアクティブ インターナル RP \varnothing 4.3 \times 15 mm 300254
 - ノーベルアクティブ インターナル RP \varnothing 4.3 \times 18 mm 300255
- カバースクリューは付属していません。

RP



ノーベルアクティブ インターナルRP

プラットフォーム径 \varnothing 3.9 mm

インプラント径 \varnothing 5.0 mm

アバットメント連結面径 \varnothing 3.4 mm

TiUnite

- ノーベルアクティブ インターナル RP \varnothing 5.0 \times 8.5 mm 35225
 - ノーベルアクティブ インターナル RP \varnothing 5.0 \times 10 mm 34137
 - ノーベルアクティブ インターナル RP \varnothing 5.0 \times 11.5 mm 34138
 - ノーベルアクティブ インターナル RP \varnothing 5.0 \times 13 mm 34139
 - ノーベルアクティブ インターナル RP \varnothing 5.0 \times 15 mm 34140
 - ノーベルアクティブ インターナル RP \varnothing 5.0 \times 18 mm 35220
- カバースクリューは付属していません。

TiUltra

- ノーベルアクティブ インターナル RP \varnothing 5.0 \times 8.5 mm 300256
 - ノーベルアクティブ インターナル RP \varnothing 5.0 \times 10 mm 300257
 - ノーベルアクティブ インターナル RP \varnothing 5.0 \times 11.5 mm 300258
 - ノーベルアクティブ インターナル RP \varnothing 5.0 \times 13 mm 300259
 - ノーベルアクティブ インターナル RP \varnothing 5.0 \times 15 mm 300260
 - ノーベルアクティブ インターナル RP \varnothing 5.0 \times 18 mm 300261
- カバースクリューは付属していません。

ドリル



チップ付ツイストドリル

- \varnothing 2 \times 7-10 mm 32296
- \varnothing 2 \times 7-15 mm 32297
- \varnothing 2 \times 10-18 mm 32299

ツイストステップドリル

- \varnothing 2.4/2.8 \times 7-15 mm 32261
- \varnothing 2.4/2.8 \times 10-18 mm 32262
- \varnothing 2.8/3.2 \times 7-15 mm 34638
- \varnothing 2.8/3.2 \times 10-18 mm 34639
- \varnothing 3.2/3.6 \times 7-15 mm 32264
- \varnothing 3.2/3.6 \times 10-18 mm 32265
- \varnothing 3.8/4.2 \times 7-15 mm 32276
- \varnothing 3.8/4.2 \times 10-18 mm 32277

ドリルストップ



ドリルストップ

- \varnothing 2 mm 33063
- \varnothing 2.8 mm 33064
- \varnothing 3.2 mm 33077
- \varnothing 3.6 mm 33084
- \varnothing 4.2 mm 33081

タップ



タップ・ノーベルアクティブ
RP4.3 36237



チップ付ツイストドリル

- \varnothing 2 \times 7-10 mm 32296
- \varnothing 2 \times 7-15 mm 32297
- \varnothing 2 \times 10-18 mm 32299

ツイストステップドリル

- \varnothing 2.4/2.8 \times 7-15 mm 32261
- \varnothing 2.4/2.8 \times 10-18 mm 32262
- \varnothing 3.2/3.6 \times 7-15 mm 32264
- \varnothing 3.2/3.6 \times 10-18 mm 32265
- \varnothing 3.8/4.2 \times 7-15 mm 32276
- \varnothing 3.8/4.2 \times 10-18 mm 32277
- \varnothing 4.2/4.6 \times 7-15 mm 34582
- \varnothing 4.2/4.6 \times 10-18 mm 34583



ドリルストップ

- \varnothing 2 mm 33063
- \varnothing 2.8 mm 33064
- \varnothing 3.6 mm 33084
- \varnothing 4.2 mm 33081



タップ・ノーベルアクティブ
RP5.0 36238

インプラントドライバー ノーベルアクティブ	ヒーリング・アバットメント ノーベルアクティブ	ヒーリング・アバットメント・ インプラントブリッジ用 ノーベルアクティブ	カバースクリュー ノーベルアクティブ	ボーンミル ノーベルアクティブ
 インプラントドライバー・ ノーベルアクティブ RP 28 mm 36720 RP 37 mm 36721	 ヒーリング・アバットメント・ ノーベルアクティブ RP Ø 3.6 × 3 mm 36643 RP Ø 3.6 × 5 mm 36644 RP Ø 3.6 × 7 mm 36872 RP Ø 5 × 3 mm 36645 RP Ø 5 × 5 mm 36646 RP Ø 5 × 7 mm 36873 RP Ø 6 × 3 mm 36647 RP Ø 6 × 5 mm 36648 RP Ø 6 × 7 mm 36874	 ヒーリング・アバットメント・ インプラントブリッジ用 ノーベルアクティブ RP Ø 5 × 3 mm 36869 RP Ø 5 × 5 mm 36870 RP Ø 5 × 7 mm 36871	 カバースクリュー・ ノーベルアクティブ RP 36650	 ガイド付ボーンミルCC RP Ø 5.2 37866 RP Ø 6.2 37867 ボーンミルガイドCC RP 37868

・ガイド付ボーンミルは新旧または旧タイプ同士においても寸法が異なるため、混同してご使用できませんので、ご注意ください。

フローチャート・ノーベルアクティブ

インプラント

WP



ノーベルアクティブ インターナルWP

プラットフォーム径 \varnothing 5.1 mm

インプラント径 \varnothing 5.5 mm

アバットメント連結面径 \varnothing 4.4 mm

TiUnite

ノーベルアクティブ インターナル WP \varnothing 5.5×7 mm	37806
ノーベルアクティブ インターナル WP \varnothing 5.5×8.5 mm	37807
ノーベルアクティブ インターナル WP \varnothing 5.5×10 mm	37808
ノーベルアクティブ インターナル WP \varnothing 5.5×11.5 mm	37809
ノーベルアクティブ インターナル WP \varnothing 5.5×13 mm	37810
ノーベルアクティブ インターナル WP \varnothing 5.5×15 mm	37811

TiUniteのWPはカバースクリューが付属しています。



TiUltra

ノーベルアクティブ インターナル WP \varnothing 5.5×7 mm	300262
ノーベルアクティブ インターナル WP \varnothing 5.5×8.5 mm	300263
ノーベルアクティブ インターナル WP \varnothing 5.5×10 mm	300264
ノーベルアクティブ インターナル WP \varnothing 5.5×11.5 mm	300265
ノーベルアクティブ インターナル WP \varnothing 5.5×13 mm	300266
ノーベルアクティブ インターナル WP \varnothing 5.5×15 mm	300267

カバースクリューは付属していません。

ドリル



チップ付ツイストドリル

\varnothing 2 × 7–10 mm	32296
\varnothing 2 × 7–15 mm	32297
\varnothing 2 × 10–18 mm	32299

ツイストステップドリル

\varnothing 2.4/2.8 × 7–15 mm	32261
\varnothing 2.4/2.8 × 10–18 mm	32262
\varnothing 3.2/3.6 × 7–15 mm	32264
\varnothing 3.2/3.6 × 10–18 mm	32265
\varnothing 3.8/4.2 × 7–15 mm	32276
\varnothing 3.8/4.2 × 10–18 mm	32277
\varnothing 4.2/4.6 × 7–10 mm	37874
\varnothing 4.2/4.6 × 7–15 mm	34582
\varnothing 4.2/4.6 × 10–18 mm	34583
\varnothing 4.2/5.0 × 7–10 mm	37875
\varnothing 4.2/5.0 × 7–15 mm	37876

ドリルストップ



ドリルストップ

\varnothing 2 mm	33063
\varnothing 2.8 mm	33064
\varnothing 3.6 mm	33084
\varnothing 4.2 mm	33081

タップ



タップ・ノーベルアクティブ

WP5.5 7–10 mm 37871

WP5.5 11.5–15 mm 37872

インプラントドライバー	ヒーリング・アバットメント	ヒーリング・アバットメント・ インプラントブリッジ用	カバースクリュー	ボーンミル
 <p>インプラントドライバー・ ノーベルアクティブ WP 28 mm 37859 WP 37 mm 37860</p>	 <p>ヒーリング・アバットメント・ ノーベルアクティブ Ø 5.0 mm × 3 mm 37813 Ø 5.0 mm × 5 mm 37814 Ø 6.5 mm × 3 mm 37815 Ø 6.5 mm × 5 mm 37816</p>	 <p>ヒーリング・アバットメント・ ノーベルアクティブ・ インプラントブリッジ用 WP Ø 6 mm × 3 mm 37817 WP Ø 6 mm × 5 mm 37818</p>	 <p>カバースクリュー・ ノーベルアクティブ WP 37812</p>	 <p>ガイド付ボーンミルCC WP Ø 6.7 37869 ボーンミルガイドCC WP 37870</p>

・ガイド付ボーンミルは新旧または旧タイプ同士においても寸法が異なるため、混同してご使用できませんので、ご注意ください。

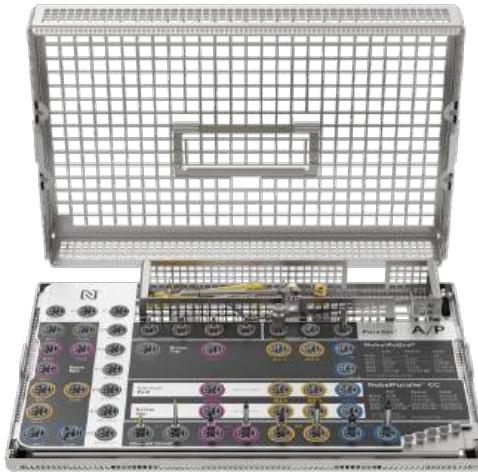
外科用キット

ノーベルアクティブ・ピュアセット 87294

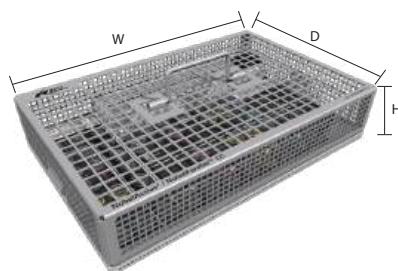
キットに含まれる製品（単品でのご購入も可能です。）

製品名	製品番号
ノーベルアクティブ/ノーベルパラレル CC・ピュアセットトレー	PUR0200
インプラントドライバー・NAct 3.0 28 mm	36773
インプラントドライバー・NAct 3.0 37 mm	36774
インプラントドライバー・NAct/CC NP 28 mm	36718
インプラントドライバー・NAct/CC NP 37 mm	36719
インプラントドライバー・NAct/CC RP 28 mm	36720
インプラントドライバー・NAct/CC RP 37 mm	36721
インプラントドライバー CC WP 28 mm	37859
インプラントドライバー CC WP 37 mm	37860
外科用トルクレンチ・ノーベルアクティブ*	34584
サージカルドライバー・NobelRpl	32180
手用ドライバー ユニグリップ 28 mm	29149
ドリルエクステンションシャフト ブラッセラ	KI589B.204.
方向指示棒 Ø2/Ø2.4-2.8 mm (キットには4本入り)	32112
デブスプローブ 7-18 mm Z シェイプ	37791
インプラント オーガナイザー	300352
ノーベルアクティブX線診断用テンプレート	37887
ウォールチャート・ノーベルアクティブ/ノーベルパラレルCC・ピュアセット	300781

*外科用トルクレンチには、トルクレンチアダプター（No. 28840）が含まれます。アダプターは単品でのご購入も可能です。



備考:ノーベルアクティブ・インプラント・サージェリーに必要なインストルメントが含まれます。
ドリル、タップはキットに含まれておらず、別途ご購入願います。



サイズの目安
(No.PUR0200) W276.1×D176×H47 (mm)
お手持ちの洗浄器・滅菌器をご利用いただく際のご参考にしてください。

ドリルストップ[®]

ドリルストップ キット 87303

キットに含まれる製品（単品でのご購入も可能です。）

製品名	製品番号
ドリルストップ キットボックス	33062
ドリルストップ \varnothing 2 mm	33063
ドリルストップ \varnothing 2.8 mm	33064
ドリルストップ \varnothing 3 mm	33075
ドリルストップ \varnothing 3.2 mm	33077
ドリルストップ \varnothing 3.4 mm	33078
ドリルストップ \varnothing 3.6 mm	33084
ドリルストップ \varnothing 4.2 mm	33081

備考：ツイストステップドリル \varnothing 4.2/4.6 および \varnothing 4.2/5.0 用のドリルストップはありません。



(医療機器届出番号:13B1X10405400001)



より安全なドリリングを行うために、ドリルストップをツイストドリルまたはツイストステップドリルに装着します。

ドリルストップ キットは、ドリルストップの保管、オートクレーブ処理およびドリルへの装着を容易にするために使用します。

1 装着用のホール

- 対応するドリルストップをドリルにスライドさせて装着します。
- 希望する深さに対応したホールにドリルを入れて、ドリルストップを装着します。 \varnothing 3.4以上のドリルでは、大きい方のホールをご使用ください。



2 ドリルストップの装着

ドライバー・ユニグリップを使用して、スクリューを締め付けます。



3 ドリルストップ

ドリルストップを装着した状態で、予め決定した深さまでドリルします。

注意:

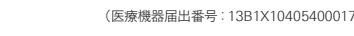
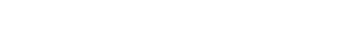
- ドリルストップは、ツイストドリルおよびツイストステップドリルに使用可能です。
- ドリルストップは、ブローネマルクシステムMkIII、ノーベルスピーディー・グルービー、ノーベルアクティブ、ノーベルパラレルCC用のドリルにのみ使用可能です。
- \varnothing 2 mmのツイストドリルでは、ドリルストップを一番上の目盛りに装着できません。



インプラント

製品名	製品番号	
TiUnite		
ノーベルアクティブ 3.0 Ø 3.0×10 mm	36769	3.0
ノーベルアクティブ 3.0 Ø 3.0×11.5 mm	36770	
ノーベルアクティブ 3.0 Ø 3.0×13 mm	36771	
ノーベルアクティブ 3.0 Ø 3.0×15 mm	36772	
ノーベルアクティブ NP Ø 3.5×8.5 mm	35221	
ノーベルアクティブ NP Ø 3.5×10 mm	34125	NP 3.5
ノーベルアクティブ NP Ø 3.5×11.5 mm	34126	
ノーベルアクティブ NP Ø 3.5×13 mm	34127	
ノーベルアクティブ NP Ø 3.5×15 mm	34128	
ノーベルアクティブ NP Ø 3.5×18 mm	35215	
ノーベルアクティブ RP Ø 4.3×8.5 mm	35223	
ノーベルアクティブ RP Ø 4.3×10 mm	34131	RP 4.3
ノーベルアクティブ RP Ø 4.3×11.5 mm	34132	
ノーベルアクティブ RP Ø 4.3×13 mm	34133	
ノーベルアクティブ RP Ø 4.3×15 mm	34134	
ノーベルアクティブ RP Ø 4.3×18 mm	35219	
ノーベルアクティブ RP Ø 5.0×8.5 mm	35225	
ノーベルアクティブ RP Ø 5.0×10 mm	34137	RP 5.0
ノーベルアクティブ RP Ø 5.0×11.5 mm	34138	
ノーベルアクティブ RP Ø 5.0×13 mm	34139	
ノーベルアクティブ RP Ø 5.0×15 mm	34140	
ノーベルアクティブ RP Ø 5.0×18 mm	35220	
ノーベルアクティブ WP Ø 5.5×7 mm	37806	
ノーベルアクティブ WP Ø 5.5×8.5 mm	37807	WP 5.5
ノーベルアクティブ WP Ø 5.5×10 mm	37808	
ノーベルアクティブ WP Ø 5.5×11.5 mm	37809	
ノーベルアクティブ WP Ø 5.5×13 mm	37810	
ノーベルアクティブ WP Ø 5.5×15 mm	37811	
TiUltra		
ノーベルアクティブ TiUltra 3.0 Ø 3.0×10 mm	300240	3.0
ノーベルアクティブ TiUltra 3.0 Ø 3.0×11.5 mm	300241	
ノーベルアクティブ TiUltra 3.0 Ø 3.0×13 mm	300242	
ノーベルアクティブ TiUltra 3.0 Ø 3.0×15 mm	300243	
ノーベルアクティブ TiUltra NP Ø 3.5×8.5 mm	300244	
ノーベルアクティブ TiUltra NP Ø 3.5×10 mm	300245	NP 3.5
ノーベルアクティブ TiUltra NP Ø 3.5×11.5 mm	300246	
ノーベルアクティブ TiUltra NP Ø 3.5×13 mm	300247	
ノーベルアクティブ TiUltra NP Ø 3.5×15 mm	300248	
ノーベルアクティブ TiUltra NP Ø 3.5×18 mm	300249	
ノーベルアクティブ TiUltra RP Ø 4.3×8.5 mm	300250	
ノーベルアクティブ TiUltra RP Ø 4.3×10 mm	300251	RP 4.3
ノーベルアクティブ TiUltra RP Ø 4.3×11.5 mm	300252	
ノーベルアクティブ TiUltra RP Ø 4.3×13 mm	300253	
ノーベルアクティブ TiUltra RP Ø 4.3×15 mm	300254	
ノーベルアクティブ TiUltra RP Ø 4.3×18 mm	300255	
ノーベルアクティブ TiUltra RP Ø 5.0×8.5 mm	300256	
ノーベルアクティブ TiUltra RP Ø 5.0×10 mm	300257	RP 5.0
ノーベルアクティブ TiUltra RP Ø 5.0×11.5 mm	300258	
ノーベルアクティブ TiUltra RP Ø 5.0×13 mm	300259	
ノーベルアクティブ TiUltra RP Ø 5.0×15 mm	300260	
ノーベルアクティブ TiUltra RP Ø 5.0×18 mm	300261	
ノーベルアクティブ TiUltra WP Ø 5.5×7 mm	300262	
ノーベルアクティブ TiUltra WP Ø 5.5×8.5 mm	300263	WP 5.5
ノーベルアクティブ TiUltra WP Ø 5.5×10 mm	300264	
ノーベルアクティブ TiUltra WP Ø 5.5×11.5 mm	300265	
ノーベルアクティブ TiUltra WP Ø 5.5×13 mm	300266	
ノーベルアクティブ TiUltra WP Ø 5.5×15 mm	300267	

外科用コンポーネント

製品名	製品番号	
ドリル		
プレシジョンドリル	36118	
ガイドドリル	35426	
ツイストドリル 1.5×7-15 mm	31278	
チップ付ツイストドリル 2×7-10 mm	32296	
チップ付ツイストドリル 2×7-15 mm	32297	
チップ付ツイストドリル 2×10-18 mm	32299	
ツイストステップドリル 2.4/2.8 7-10 mm	32260	
ツイストステップドリル 2.4/2.8 7-15 mm	32261	
ツイストステップドリル 2.4/2.8 10-18 mm	32262	
ツイストステップドリル 2.8/3.2 7-10 mm	37873	
ツイストステップドリル 2.8/3.2 7-15 mm	34638	
ツイストステップドリル 2.8/3.2 10-18 mm	34639	
ツイストステップドリル 3.2/3.6 7-10 mm	32263	
ツイストステップドリル 3.2/3.6 7-15 mm	32264	
ツイストステップドリル 3.2/3.6 10-18 mm	32265	
ツイストステップドリル 3.8/4.2 7-10 mm	32275	
ツイストステップドリル 3.8/4.2 7-15 mm	32276	
ツイストステップドリル 3.8/4.2 10-18 mm	32277	
ツイストステップドリル 4.2/4.6 7-10 mm	37874	
ツイストステップドリル 4.2/4.6 7-15 mm	34582	
ツイストステップドリル 4.2/4.6 10-18 mm	34583	
ツイストステップドリル 4.2/5.0 7-10 mm	37875	
ツイストステップドリル 4.2/5.0 7-15 mm	37876	

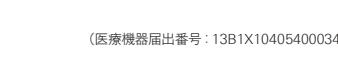
(医療機器届出番号: 13B1X10405400017)

タップ		
タップ ノーベルアクティブ 3.0	36816	
タップ ノーベルアクティブ NP 3.5	36236	
タップ ノーベルアクティブ RP 4.3	36237	
タップ ノーベルアクティブ RP 5.0	36238	
タップ ノーベルアクティブ WP 5.5 7-10 mm	37871	
タップ ノーベルアクティブ 5.5 11.5-15 mm	37872	

(医療機器届出番号: 13B1X10405400034)

方向指示棒 $\varnothing 2$ / $\varnothing 2.4-2.8$ mm	32112	
--	-------	---

(医療機器届出番号: 13B1X10405400011)

インプラントドライバー		
インプラントドライバー NAct 3.0 28 mm	36773	
インプラントドライバー NAct 3.0 37 mm	36774	
インプラントドライバー CC NP 28 mm	36718	
インプラントドライバー CC NP 37 mm	36719	
インプラントドライバー CC RP 28 mm	36720	
インプラントドライバー CC RP 37 mm	36721	
インプラントドライバー CC WP 28 mm	37859	
インプラントドライバー CC WP 37 mm	37860	

(医療機器届出番号: 13B1X10405400034)

製品名

製品番号

ガイド付ボーンミル

ガイド付ボーンミル CC 3.0 \varnothing 4.0	37861
ボーンミルガイド CC 3.0	37862
ガイド付ボーンミル CC NP \varnothing 4.4 mm	37863
ガイド付ボーンミル CC NP \varnothing 5.2 mm	37864
ボーンミルガイド CC NP	37865
ガイド付ボーンミル CC RP \varnothing 5.2 mm	37866
ガイド付ボーンミル CC RP \varnothing 6.2 mm	37867
ボーンミルガイド CC RP	37868
ガイド付ボーンミル CC WP \varnothing 6.7 mm	37869
ボーンミルガイド CC WP	37870

例: RP \varnothing 5.2外径
5.2 mm

ボーンミル



ボーンミルガイド

(医療機器届出番号: 13B1X10405400034)

カバースクリュー

カバースクリュー NAct 3.0	36775
カバースクリュー CC NP	36649
カバースクリュー CC RP	36650
カバースクリュー CC WP	37812



(医療機器承認番号: 22200BZX00844000, 22400BZX00503000)

トルクレンチ

外科用トルクレンチ・ノーベルアクティブ	34584
外科用トルクレンチ・アダプター・リプレイス	28840
補綴用トルクレンチ	29165
補綴用トルクレンチ・アダプター	29167



(医療機器届出番号: 13B1X10405400001, 13B1X10405400011, 13B1X10405400018, 13B1X10405400034)

ドリルエクステンションシャフト ブラッセラー

KI589B.204.



(医療機器届出番号: 13B1X10405400023)

サーボカルドライバー・Rpl

32180



(医療機器届出番号: 13B1X10405400011)

手用歯肉パンチ

手用歯肉パンチ \varnothing 4.1 mm (5個入り)	32Z2000
手用歯肉パンチ \varnothing 5.2 mm (5個入り)	32Z2002
手用歯肉パンチ \varnothing 6.2 mm (5個入り)	32Z2004



(医療機器届出番号: 13B1X10405400010)

フラップレス外科用インストルメント

歯肉パンチ NP	29628
歯肉パンチ RP	29629
歯肉パンチ WP	29630
歯肉パンチ 6.0	32672



歯肉パンチガイド、ドリルガイドは販売を終了しました。何卒ご了承ください。

(医療機器届出番号: 13B1X10405400031)

ドレープキット/補綴用ドライバー&キット

製品名

製品番号

サージカルドレープキット 1パック (2セット入り)

12.E1619.00



(医療機器届出番号: 13B1X10405400024)

ドライバー

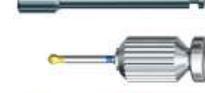
手用ドライバー ユニグリップ 20 mm	29148
手用ドライバー ユニグリップ 28 mm	29149
手用ドライバー ユニグリップ 36 mm	29150
マシン用ドライバー ユニグリップ 20 mm	29151
マシン用ドライバー ユニグリップ 25 mm	29152
マシン用ドライバー ユニグリップ 30 mm	29153
マシン用ドライバー ユニグリップ 35 mm	29154



手用ドライバー マルチユニット・アバットメント用 25 mm	29156
マシン用ドライバー マルチユニット・アバットメント用 21 mm	29158



手用ドライバー・オムニグリップ 20 mm	37376
手用ドライバー・オムニグリップ 28 mm	37377
手用ドライバー・オムニグリップ 36 mm	37378
マシン用ドライバー・オムニグリップ 20 mm	37379
マシン用ドライバー・オムニグリップ 25 mm	37380
マシン用ドライバー・オムニグリップ 30 mm	37381
マシン用ドライバー・オムニグリップ 35 mm	37382



手用ドライバー・オムニグリップミニ 20 mm	300855
手用ドライバー・オムニグリップミニ 36 mm	300856
マシン用ドライバー・オムニグリップミニ 20 mm	300852
マシン用ドライバー・オムニグリップミニ 28 mm	300853
マシン用ドライバー・オムニグリップミニ 36 mm	300854



ハンドル・マシンインスツルメント用	29161
-------------------	-------



補綴用ピュアセット・ベーシック 87301

キットに含まれる製品 (単品でのご購入も可能です。)



製品名	製品番号
補綴用ピュアセット・トレー	PUR0500
マシン用ドライバー ユニグリップ 20 mm	29151
マシン用ドライバー ユニグリップ 30 mm	29153
マシン用ドライバー マルチユニット・アバットメント用 21 mm	29158
補綴用トルクレンチ*	29165
マシン用ドライバー オムニグリップ 20 mm	37379
マシン用ドライバー オムニグリップ 30 mm	37381
ハンドル・マシンインスツルメント用	29161
補綴用ピュアセット・ベーシック・ウォールチャート	301232

サイズの目安
(No.PUR0500)
W122.1×D115×H45.6 (mm)
お手持ちの洗浄器・滅菌器をご利用
いただく際のご参考にしてください。

*補綴用トルクレンチ (No.29165) には、トルクレンチアダプター (No.29167) が含まれます。

テンポラリー・コンポーネント

下記の補綴関連製品は一部のみ掲載しております。その他につきましては、コニカル・コネクション・インプラント関連製品カタログをご覧ください。

製品名

製品番号

テンポラリー・アバットメント

テンポラリー・アバットメント・チタン・エンゲージング NAct 3.0	36779
テンポラリー・アバットメント・チタン・エンゲージング CC NP	36663
テンポラリー・アバットメント・チタン・エンゲージング CC RP	36664
テンポラリー・アバットメント・チタン・エンゲージング CC WP 1.5 mm	37823
テンポラリー・アバットメント・チタン・エンゲージング CC WP 3 mm	37824
テンポラリー・アバットメント・チタン・ノンエンゲージング CC NP	36661
テンポラリー・アバットメント・チタン・ノンエンゲージング CC RP	36662
テンポラリー・アバットメント・チタン・ノンエンゲージング CC WP 1.5 mm	37825
テンポラリー・アバットメント・チタン・ノンエンゲージング CC WP 3 mm	37826

(アバットメントスクリュー付)

(医療機器承認番号:22200BZX00846000, 22400BZX00502000)



テンポラリースナップ・アバットメント エンゲージング CC NP 1.5 mm	38760
テンポラリースナップ・アバットメント エンゲージング CC RP 1.5 mm	38761
テンポラリースナップ・アバットメント エンゲージング CC WP 1.5 mm	38762
テンポラリースナップ・アバットメント エンゲージング CC NP 3 mm	38847
テンポラリースナップ・アバットメント エンゲージング CC RP 3 mm	38848
テンポラリースナップ・アバットメント エンゲージング CC WP 3 mm	38849

(アバットメントスクリュー付)

(医療機器承認番号:22900BZX00191000)

プロテクションアナログ/ドリルガイド CC NP 5個パック	38855
プロテクションアナログ/ドリルガイド CC RP 5個パック	38856
プロテクションアナログ/ドリルガイド CC WP 5個パック	38857
アピカルドリル・テンポラリースナップ・アバットメント/シリンダー用	38853



専用の製品をお使いいただき、アバットメントへの損傷を防ぎながら、スクリュー・アクセスホールを簡便に形成していただけます。

(医療機器届出番号:13B1X10405400006, 13B1X10405400039)

製品名

製品番号

ヒーリング・アバットメント

ヒーリング・アバットメント・CC NP $\varnothing 3.6 \times 3$ mm	36639
ヒーリング・アバットメント・CC NP $\varnothing 3.6 \times 5$ mm	36640
ヒーリング・アバットメント・CC NP $\varnothing 3.6 \times 7$ mm	36867
ヒーリング・アバットメント・CC NP $\varnothing 5 \times 3$ mm	36641
ヒーリング・アバットメント・CC NP $\varnothing 5 \times 5$ mm	36642
ヒーリング・アバットメント・CC NP $\varnothing 5 \times 7$ mm	36868
ヒーリング・アバットメント・CC RP $\varnothing 3.6 \times 3$ mm	36643
ヒーリング・アバットメント・CC RP $\varnothing 3.6 \times 5$ mm	36644
ヒーリング・アバットメント・CC RP $\varnothing 3.6 \times 7$ mm	36872
ヒーリング・アバットメント・CC RP $\varnothing 5 \times 3$ mm	36645
ヒーリング・アバットメント・CC RP $\varnothing 5 \times 5$ mm	36646
ヒーリング・アバットメント・CC RP $\varnothing 5 \times 7$ mm	36873
ヒーリング・アバットメント・CC RP $\varnothing 6 \times 3$ mm	36647
ヒーリング・アバットメント・CC RP $\varnothing 6 \times 5$ mm	36648
ヒーリング・アバットメント・CC RP $\varnothing 6 \times 7$ mm	36874
ヒーリング・アバットメント・CC WP $\varnothing 5 \times 3$ mm	37813
ヒーリング・アバットメント・CC WP $\varnothing 5 \times 5$ mm	37814
ヒーリング・アバットメント・CC WP $\varnothing 6.5 \times 3$ mm	37815
ヒーリング・アバットメント・CC WP $\varnothing 6.5 \times 5$ mm	37816
ヒーリング・アバットメント PIB用 CC NP $\varnothing 4 \times 3$ mm	36864
ヒーリング・アバットメント PIB用 CC NP $\varnothing 4 \times 5$ mm	36865
ヒーリング・アバットメント PIB用 CC NP $\varnothing 4 \times 7$ mm	36866
ヒーリング・アバットメント PIB用 CC RP $\varnothing 5 \times 3$ mm	36869
ヒーリング・アバットメント PIB用 CC RP $\varnothing 5 \times 5$ mm	36870
ヒーリング・アバットメント PIB用 CC RP $\varnothing 5 \times 7$ mm	36871
ヒーリング・アバットメント PIB用 CC WP $\varnothing 6 \times 3$ mm	37817
ヒーリング・アバットメント PIB用 CC WP $\varnothing 6 \times 5$ mm	37818



オッセオセット 300

製品名

製品番号

オッセオセット300 SI-1010 ワイヤレスフットコントロール セット

87291



(セットには以下の製品が含まれます。)

- ・コントロールユニット本体
- ・1.8mケーブル付モーター EM-19 LC
- ・ワイヤレス フットコントロール (ドングル付)
- ・コントラアングル ハンドピース WS-75 L, 20:1 (ライト付)
- ・ホースクリップ × 5個
- ・ユニバーサルサポート
- ・冷却水用スタンド
- ・電源ケーブル
- ・フットコントロールハンガー
- ・単3乾電池 × 3本

オッセオセット300 アクセサリー

オッセオセット300 イリゲーションチューブ 2.2 m (6本/パック)	NB04363600
オッセオセット300 コントラアングルハンドピース WS-75 L, 20:1 (ライト付)	NB30033001
オッセオセット300 ストレートハンドピース S-11 L, 1:1 (ライト付)	NB30058001
オッセオセット300 1.8 mケーブル付モーター EM-19 LC	NB30281000
オッセオセット300 フットコントロール S-N2 (ケーブル付)	NB30285000
オッセオセット300 フットコントロール S-NW (ワイヤレス) ドングル付	NB30264000
内部注水用ノズル (オッセオセット100/200/300共用)	NB02610500
オッセオセット300 キヤリングケース	NB07962790
W&H サービスオイルF1 MD-400	NB10940011
W&Hスプレーキャップノズル付	NB10940011-1

備考: 上記以外のアクセサリーにつきましては、別途お問い合わせください。

マスターサージ LUX

製品名	製品番号
マスターサージ LUX セット	81074



セットには以下の製品が含まれます。

- ・ マスターサージ LUX (1.009.1200)
- サージカルモータ イントラ LUX S600 LED (1.008.8000)
 - ワイヤレスソフトコントローラ
 - サージカルモータ ホース S600 用 (1.009.1700)
 - イリゲーションチューブ S600 用 (5本入り、滅菌済み)
 - サージマティック ハンドピーストレイ (1.009.3411)
 - ボトルホルダー
 - 一体型ポンプ
- ・ アクセサリーパック (1.012.9254)
 - カブリングピース (NB0.593.0361)
 - 電源ケーブル
 - SD カード
 - 書類 (取扱説明書、クイックガイド、トラブルシュートガイド、修理依頼のご案内)
- ・ サージマティック コントラアングルハンドピース S201 XL プロ (1.013.7541)

単品	製品番号
サージカルモータ イントラ LUX S600 LED	1.008.8000
サージマティック コントラアングル S201 XL プロ	1.013.7541
サージマティック ストレート S11 L	1.009.1010
サージカルモータ ホース S600 用	1.009.1700
イリゲーションチューブ S600 用 (10本入り、滅菌済み)	1.009.8757
カブリングピース	NB0.593.0361
ハンドピーストレイ	1.009.3411

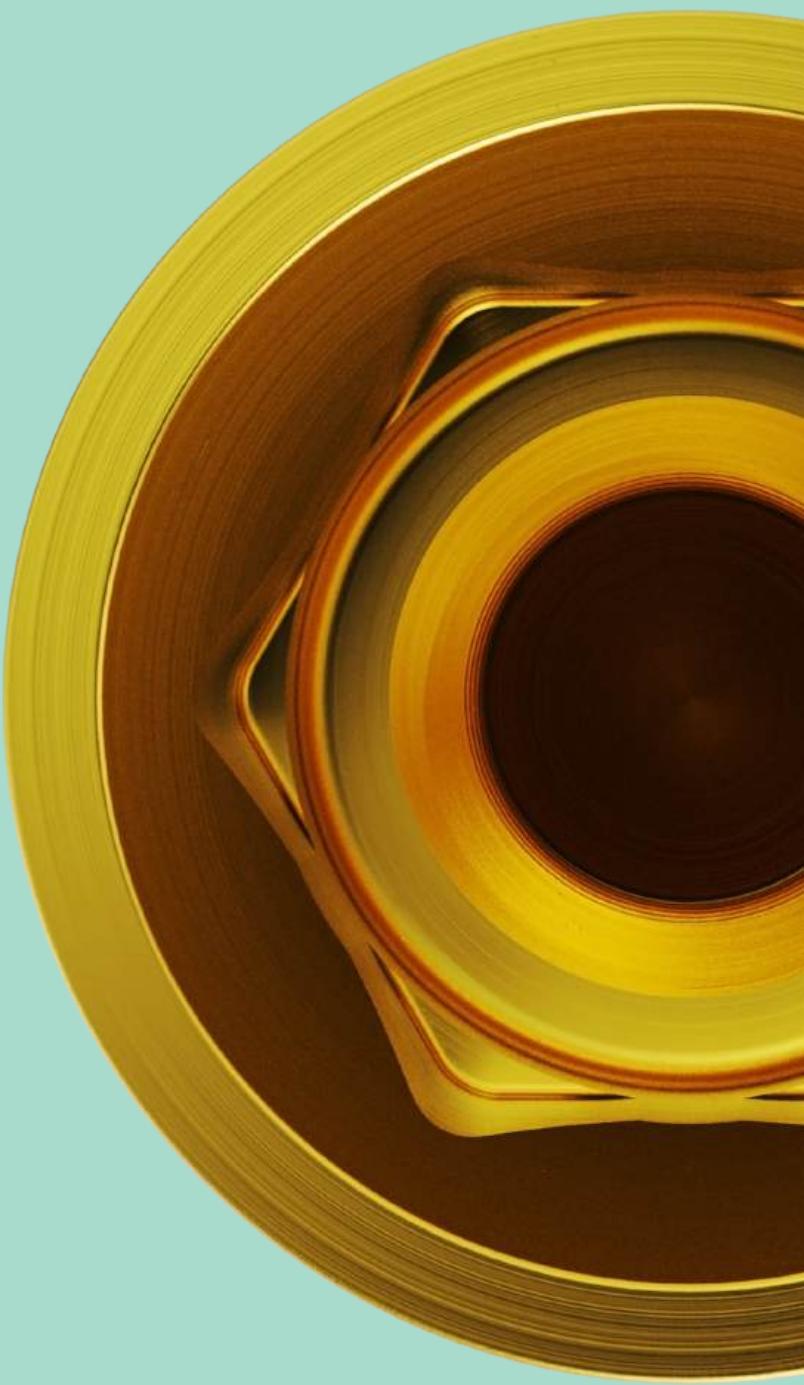
備考：マスターサージ LUX 本体、アクセサリーパックの単品販売はございません。

アクセサリー

製品名	製品番号
コンフォルトII用 アクセサリー	
コンフォルトIIモーター (SGL70M モーター&コード)	NBE1023005
コンフォルトIIハンドピース (X-SG20ML ライト付き)	NBC1003007
パイプホルダー (X-SG20L)	NB20000396
電源コード	NBU389013A
内部注水ノズル	NB10000324
ロッド (ボトル支柱)	NBU370152
プロテクションプラグ	NB10001595
チューブホルダー (7個入)	NBY900083
ノズル清掃針	NB20000512
Eタイプスプレーノズル	NBZ019090
ヒューズ (T3.15A 250V) コンフォルトII	NB1200131510
バナスプレープラス	NBZ182100
キャリプレーションバー	NBZ1057101
モータースタンド	NBZ1029201
イリゲーションチューブセット (10個入)	NBY1001210
二分岐注水チューブ (1個入)	NBC823752
Oリング (黒色小/プロテクションプラグ用)	NB12457102
Oリング (黒色/モーターインサート部用)	NB12074080
フットコントロールハンガー コンフォルト	NBZ1027001



お願い：ご注文の際は、納品までお時間を頂く場合がございます。ご了承ください。



附録

外科用 / 補綴用トルクレンチ 66

洗浄と滅菌 68

外科用/補綴用トルクレンチ

インプラント埋入時に加わるトルク値の大きさがインプラントの初期固定度を判断する目安となります。

補綴処置を行う際には、アバットメントスクリューや補綴用スクリューを推奨トルク値で締め付けることにより、機能時のスクリューの締め付けを維持することができます。

外科用トルクレンチ・ノーベルアクティブ

最終締め付けやインプラントの埋入位置の調節に使用します。

- 45 Ncmと70 Ncmのトルク値計測用のラインが入っています。
- コニカル・コネクション・インプラントドライバーを外科用トルクレンチ・アダプターに接続して使用します。



補綴用トルクレンチ

締め付けトルク 15 ~ 35 Ncm で補綴用スクリューやアバットメントスクリューを締め付けるために使用します。

- 15 Ncmと35 Ncmのトルク値計測用のラインが入っています。
- ノーベルバイオケアの補綴用のマシン用ドライバーを補綴用トルクレンチ・アダプターに接続して使用します。

注意: 外科用のインプラントドライバーと組み合わせてご使用になりませんよう、ご注意ください。

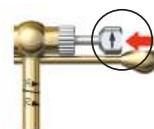


外科用トルクレンチの使用方法

- インプラントドライバーを外科用トルクレンチに接続します。
- インプラントを締め付けるには、矢印を時計回りの方向へ向け、レバーアームを手前に引きます。
- インプラントを除去するには、矢印を反時計方向に回して、レバーアームを矢印の方向へ押します。

注意: レバーアームではなく、レンチ本体を使用すると、スクリューやインプラントに過剰なトルクがかかる原因となります。締め付けすぎると、周囲の骨に過剰な圧力がかかり、骨に悪影響を及ぼすことがあります。

ご使用後はパーツを分解し、洗浄と滅菌を行ってください。



洗浄と滅菌

滅菌済みコンポーネント

滅菌した状態で発送される製品には、ラベルに「滅菌済」（右図）と記されています。患者の口腔内で未使用のコンポーネントでも、包装を開けたものについては、歯科医院/病院で通常行われている手順に従って、再度洗浄し、オートクレーブ滅菌してください。

STERILE R

注意：インプラントを再滅菌してご利用になれません。

インプラント

インプラントは滅菌した状態でお届けし、1回のご使用に限られます。表示されている使用期限内にご使用ください。パッケージが破損していたり、すでに開封されているインプラントは使用しないでください。



ツイストドリル、ツイストステップドリル、 プレシジョンドリル、タップ、カウンターポア

ドリルは滅菌した状態でお届けします。1回の手術でのご使用を推奨します。なお、タップは再使用が可能です。切削効率が低下したときに交換してください。洗浄と滅菌については、インスツルメントの洗浄と滅菌の方法をご覧ください。



アバットメントとプラスチック・コーピング

マルチユニット・アバットメント、On1ベース・アバットメントは滅菌した状態でお届けします。再滅菌が必要な場合（未使用または同一患者に使用し、再滅菌が必要な場合）は、135°C (274°F) で5分間オートクレーブ滅菌します。



注意：

- マルチユニット・アバットメント・ストレート、On1ベース・アバットメントを再滅菌する場合は、滅菌手順前にプラスチックホルダーを取り外してください。
- 滅菌済みプラスチック・コーピングは1回のご使用を推奨します。

未滅菌コンポーネント

再使用可能なインツルメントのお手入れとメンテナンスは、治療の成功にとって極めて重要です。インツルメントの十分な維持管理は、患者やスタッフを感染の危険から守るためにだけでなく、統合的な治療結果を得るためにも必要不可欠です。

外科用キット

外科用キット：

滅菌する場合、135°C (274°F) で5分間高压蒸気滅菌します。

(注意) キットボックスの耐熱温度：150°C



外科用キット

ピュアセット：

高压蒸気滅菌します。

予備真空がある場合：温度：132～134°C

暴露時間：4分間以上

予備真空がない場合：温度：132～134°C

暴露時間：20分間以上

なお、ピュアセットの洗浄・滅菌につきましては、製品に同梱されるピュアセット推奨洗浄方法をご覧ください。



ピュアセット

院内で指定され、バリデートされた滅菌条件があればそれに従ってください。

コントラアングル・ハンドピース

洗浄と滅菌の手順については、各メーカーの手順に従ってください。

アバットメントとプラスチック・コーピング

チタン製、金合金製のアバットメントは未滅菌の状態でお届けします。口腔内で装着する前に、アバットメントを滅菌することが推奨されています。滅菌する場合は、135°C (274°F) で5分間オートクレーブ滅菌します。

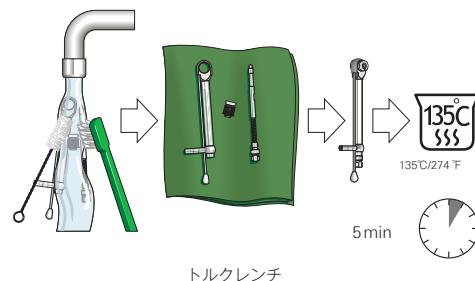
注意：

- アバットメントを形成した場合は、滅菌前にアバットメントを洗浄してください。
- 未滅菌のプラスチック・コーピングは1回のご使用を推奨します。

インスツルメント、印象用コーピング（金属製）、トルクレンチ

予備洗浄

1. 使用済みのインスツルメントを水（<40°C/104°F）に浸して残存している骨または組織片を取り除きます。次の洗浄ステップに影響する可能性があるため、固化剤や温水（>40°C/104°F）は使用しないでください。次の手順を開始するまで、インスツルメントを濡れた状態にしておいてください。
2. ぬるま湯で調製した0.5%の酵素洗浄溶液（pHレベルが7～10の酵素洗浄剤など）に、インスツルメントを浸します。浸す時間は洗浄剤メーカーの指示に従ってください。洗浄溶液は、市販のものを使用できます。詳しくは製造元にお尋ねください。
3. ナイロン製の軟らかいブラシを使用してインスツルメントの外側と、該当する場合は内側の表面を磨き、目に見えるすべての汚れを落とします。
4. インスツルメントに付いた洗浄溶液を水道水で完全に洗い流します。



トルクレンチ

自動洗浄、消毒および乾燥

1. 器材ラックにインスツルメントを載せて、洗浄/消毒機の中に入れます。次に示すサイクルを開始します。
 - a. 冷水で2分間予備洗浄を行い、排水します。
 - b. 研磨剤を含まない外科用機器洗浄剤（酵素、界面活性剤を含む）を使用して、55 °C /131 °Fで5分間洗浄し、排水します。
 - c. 水道水で3分間中和を行い、排水します。
 - d. 冷水による中間すすぎを2分間行い、排水します。
2. その他、各洗浄機の製造元の説明書に従ってください。洗浄消毒剤は、市販のものを使用できます。
3. 洗浄消毒機の乾燥サイクルによってインスツルメントの表面を乾かします。
4. 必要に応じて、柔らかいタオルで水気を拭き取ることができます。エアーでインスツルメントの内部に吹き込み水分を飛ばします。

代替法：

研磨剤を含まない外科用機器洗浄剤とともに、超音波洗浄を行います。洗浄時間は洗浄剤メーカーの指示に従ってください。その後、流水下で2分間以上洗浄し、洗浄剤を完全に洗い流してください。柔らかい布等で水分を拭き取り、必要に応じてエアーを使用して水分を飛ばします。水分が付いた状態のまま放置しないでください。



機能試験とメンテナンス

拡大鏡で目視点検して、清浄であることを確認します。

パッケージ

インスツルメントは滅菌バッグに入れてください。

滅菌

各国の条件を考慮し、高圧蒸気滅菌にてインスツルメントを滅菌します。

滅菌条件：

予備真空がある場合：温度：132～134°C

暴露時間：4分間以上

予備真空がない場合：温度：132～134°C

暴露時間：20分間以上

(注意) キットボックスの耐熱温度：150°C

保管

滅菌済みのインスツルメントは、乾燥してダストのない清潔な環境で保管します。

保管温度は5°C～40°C (41°F～104°F)

患者様の治療の理解と安心のために

ノーベルバイオケア Patient Card

患者様向けノーベルバイオケア製品専用
治療記録カード



ノーベルバイオケア製品で治療された患者様に
Patient Card(ペイシエントカード:患者カード)をご提供ください。
カードに貼付されているロット番号を患者様がウェブサイトに入力することで、
治療にノーベルバイオケア製品が使用されていることを、
ご自身でご確認いただけます。



認証システムはこちらから



www.nobelbiocare.co.jp/certify/
(PC/Mobile共通)

注意: 本カードは「治療記録カード」であり、ノーベルバイオケアが医療機関や患者様に対して、製品や治療内容等を保証するものではありません。

お客様へのご案内とお願ひ

■ ご注文に関するお願ひ

ご注文はお電話にて受付いたしております。

電話番号はフリーダイヤル 0120-147-118

次の通りご準備の上、お電話ください。

1. お客様のお名前と**顧客番号**
2. ご注文商品の**製品番号**と製品名／ご注文個数
3. ご希望納品日

※ご注文はFAXでも受付いたしております。(FAX フリーダイヤル 0120-726-118)

お電話またはFAXによるご注文の受付、発送、お届けについて

当社受付	発 送	お届け
9:00～17:00	当日出荷	翌日中 (地域によっては翌々日中)

～ 誠に勝手ながら、土曜・日曜・祝日はお休みさせていただいております ～

■ お支払いに関するお願ひ

お支払いは当月末締め翌月末日までに、銀行振込にてお願ひいたします。お客様の銀行振込受取書の領収印をもちまして、当社領収書の代わりとさせていただきます。

■ お振込みは下記口座へお願ひいたします ■

● 三井住友銀行 本店営業部	当座預金 No. 2140776
	口座名 ノーベルバイオケアジャパン株式会社

■ オンラインストア

ノーベルバイオケア製品専用のインターネットショップです。

24時間いつでもご注文が可能です。(発送手続きは営業時間内)

どうぞご利用ください。

<https://store.nobelbiocare.com/jp>



オンラインでご注文

ノーベルバイオケアのオンラインストアから
インプラントおよび関連製品を幅広いラインアップより
24時間いつでもご注文いただけます。
(発送手続きは営業時間内)

store.nobelbiocare.com/jp

お電話またはファックスにてご注文

カスタマーサービスにお電話をいただくか、
またはファックスにてご注文いただけます。

TEL 0120-147-118
FAX 0120-726-118

製品保証プログラム

ノーベルバイオケアでは、製品の保証プログラムを
適用しております。詳細に付きましては、
弊社までお問い合わせください。



nobelbiocare.com

22332P JP 2511 © Nobel Biocare services AG, 2025. All rights reserved.

ノーベルバイオケア、ノーベルバイオケアのロゴ、および本書で使用されているその他のすべての商標は、別途記載されていない限り、
また文脈から明白である場合を除き、ノーベルバイオケアの商標です。このパンフレット内の製品画像は、必ずしも縮尺どおりではありません。

製造販売元：エンピスタジャパン株式会社
販売元：ノーベル・バイオケア・ジャパン株式会社
〒140-0001 東京都品川区北品川4-7-35 御殿山トラストタワー13F TEL 03-6408-4182

 **Nobel**
Biocare™